

白井市第6次総合計画の策定 都市マスタープランの改定

タウンミーティング 実績報告書

2024年8月

1 実施概要

(1) 開催概要

タウンミーティングの実施状況について、以下表に示す。

表 タウンミーティングの実施内容

開催日	時間	会場	人数
5月26日（日）	9：30～12：00	白井コミュニティセンター	5人
6月1日（土）	9：30～12：00	白井駅前センター	14人
	14：00～16：30	公民センター	22人
6月2日（日）	9：30～12：00	西白井複合センター	23人
	14：00～16：30	富士センター	14人
6月23日（日）	14：00～16：30	桜台センター	25人
			合計 103人

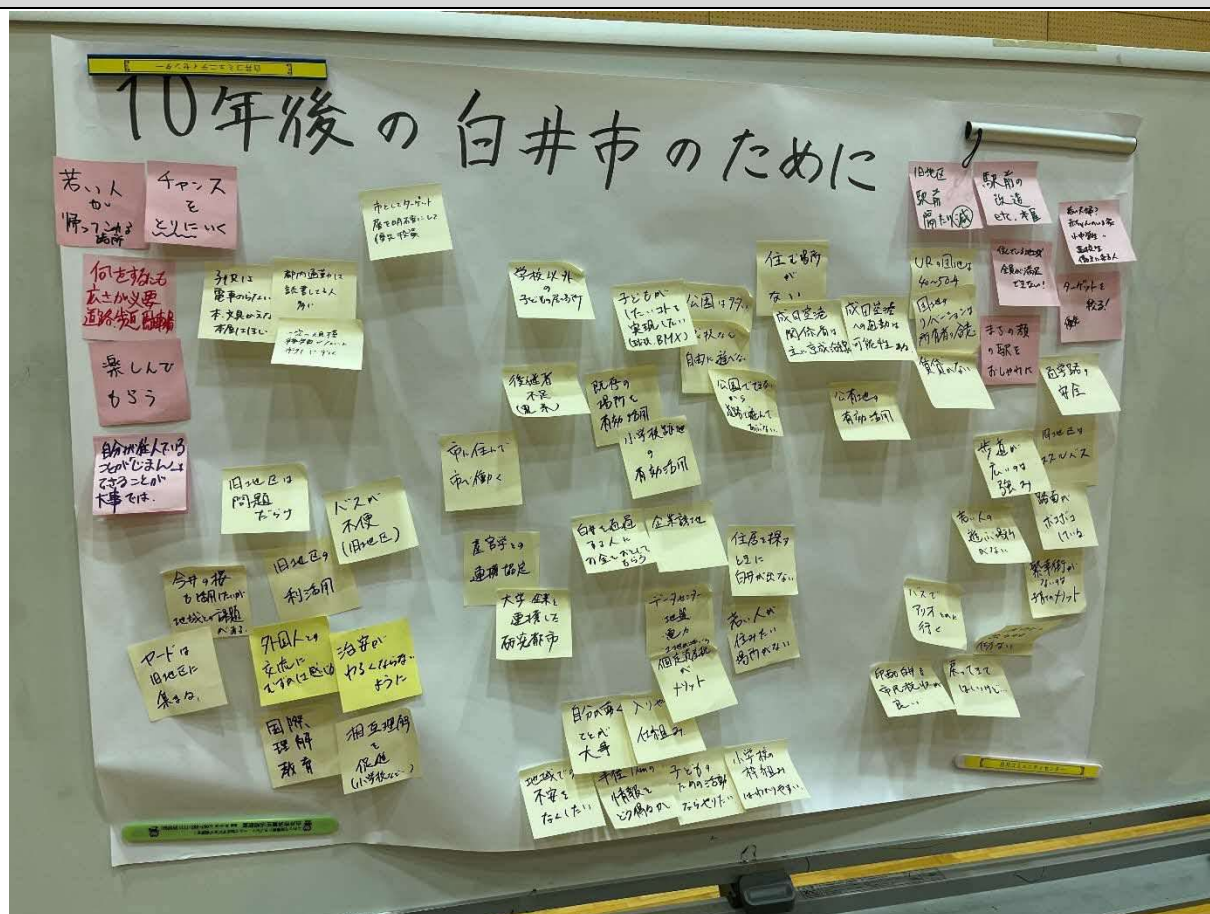
(2) 内容

- 1) はじめに タウンミーティングの趣旨について
- 2) 市長挨拶 総合計画及び市の現状について説明
- 3) ワークショップ
テーマ：「10年後の白井市の望ましい将来像」
◆グループ討議・発表
- 4) 市長講評 ワークショップに対する講評



①令和 6 年 5 月 26 日(日) 9:30~12:00 白井コミュニティセンター

A グループ



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

- ・若い人が帰ってこれる場所
- ・チャンスを取りにいく
- ・何をしても広さが必要（道路、歩道、駐車場）
- ・楽しんでもらう
- ・子どもは電車乗らないと本・文具買えない、本屋はほしい
- ・都内通勤は読書している人多い
- ・一定規模の種類がないと市外に行く
- ・自分が住んでいることが「自慢」できることが大事では
- ・旧地区は問題だらけ
- ・バスが不便（旧地区）
- ・旧地区の利活用
- ・今井の桜も活用したいが地域との課題がある
- ・ヤードは旧地区に集まる
- ・外国人との交流に難しさを感じる
- ・治安が悪くならないように
- ・国際、理解、教育
- ・産官学との連携協定
- ・大学企業と連携した研究都市
- ・白井を通過する人にお金を落としてもらう
- ・企業誘致
- ・住居を探すときに白井が出ない
- ・若い人が住みたい場所がない
- ・データセンター、地盤、電力、土地が手ごろ
- ・固定資産税がメリット
- ・入りやすい仕組み
- ・自分が動くことが大事
- ・地域の不安をなくしたい
- ・半径 1km の情報をどう得るか
- ・子どものための活動ならやりたい
- ・小学校の枠組みはわかりやすい
- ・旧地区、駅前隔たり減
- ・駅前の改造 etc.本屋
- ・若い夫婦？赤ちゃんのいる家、小中学生のいる家、高校生、働きに来る人

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・相互理解を促進（小学校など） ・市としてターゲット層を明確にして優先投資 ・学校以外の子どもの居場所 ・子どもがしたいコトを実現したい（球技、BMX） ・公園は多い ・球技など自由に遊べない ・公園でできないから道路で遊んで危ない ・後継者不足（農業） ・既存場所を有効活用 ・小学校跡地の有効活用 ・市に住んで市で働く ・住む場所がない ・成田空港関係者は主に京成沿線 ・成田空港への通勤は可能性ある ・公有地の有効活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを絞る！ ・住んでいる地域全員が満足できない ・まちの顔の駅をおしゃれに ・UR の団地は 40～50 年 ・団地のリノベーションは所有者の合意 ・賃貸がない ・通学路、安全 ・旧地区はスクールバス ・歩道が広いのは強み ・路面がボコボコしている ・若い人の遊ぶ場所がない ・繁華街がないのは子育てのメリット ・バスでアリオとかに行く ・戻ってきて欲しいけど・・・ ・印西も白井も市民税収が良い |
|--|---|

主な意見まとめ

- ターゲットを明確にする
 - ・若い人が白井のことを思い出してもらえる場所を残してほしい
 - ・若い人が遊ぶ場所がなくバスで近隣に出かけている⇔繁華街がないことは子育てのメリット
 - ・学校以外に子どもの居場所がある、子どもがしたいことを実現したい（自由に遊べる公園など）
- 何をするにも広さが必要
 - ・旧地区の利活用。今井の桜も活用したいが、地域との課題がある。
- チャンスを取りに行く
 - ・白井を通過する人にお金を落としてもらう
 - ・駅前の改造、まちの顔として駅をおしゃれに
 - ・本屋がなく、子どもは電車に乗らないと本や文具が買えない
- 住んでいる地域全員が満足できない
 - ・地域での不安をなくしたい
 - ・半径 1km の情報をどう得るか
 - ・自分が働くことが大事、子どものための活動ならやりたい

A グループ



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【現状】

- ・住みやすいけどいろいろ足りない
- ・安心安全だけいろいろ足りない
- ・白井では介護予防に力を入れている（ピンピンころり）
- ・住宅地の創出→市街化区域のまわりの調整区域に住宅地
- ・カラオケが無い
- ・バスも不便（コミュニティバス）
- ・事業者によってバス停が別々
- ・高等教育が充実してない
- ・地盤が良い
- ・データセンターも地盤良さが大事
- ・道路が整備されている
- ・白井は住宅と自然
- ・緑が多い、空が広い、星がきれい
- ・東京と比べて少し涼しい
- ・少子化

- ・働く場所が少ない

- ・計画的に都市基盤を変えていく
- ・北総乗らずに暮らせる白井
- ・車、キックスクーター→多様な移動手段を支援
- ・白井はプライドがある
- ・子どもの遊べる場所が多い
- ・健全すぎて面白くない

【目指すところ】

- ・白井の良さ、安心安全
- ・住む場所として魅力のある白井を！
- ・子育てママが住みたいまちに
- ・若い人を増やす
- ・梨を残しつつ、別の手立て
- ・子育てと両立できる働く場所
- ・体験の重要性
- ・子育て＝女性（母）だけではない
- ・高齢者を1つのコミュニティで固めない
- ・多様な世代との関わり

- ・ 40 年前は大山口小は 9 クラスあった
- ・ 子どもは市外に出て親世代が残ってる
- ・ 2 世帯で済んでいる人が少ない
- ・ 飲食が少ない
- ・ ちょっと外食できる場所がない
- ・ 近くに遊ぶ場所が少ない
- ・ 電車が代が高い
- ・ 周りには 70 歳以上
- ・ 若い人が住みたくなるまち
- ・ テレワークなら住める
- ・ 白井＝住むに特化したまち、商業は近隣
- ・ 印西の隣にあるのはメリット、商業は印西、住居は白井
- ・ 電力もある、小室に変電所がある
- ・ なしバス、ききょう号などコミュバスを統合
- ・ 人を呼ぶにも住宅が足りない

【若い人の足りないを満たす】

- ・ 横のつながり→近隣の情報共有
- ・ 教育の充実、塾と連携
- ・ 家以外でリモートワークできる場所
- ・ 白井から通える圏内に働ける場所
- ・ リモートワークなら会社の場所に寄らない
- ・ 企業の支援
- ・ やりたい事の応援の仕組み
- ・ 白井に住みながら働ける働き方

【その他】

- ・ 梨の他に地盤の強さを PR→安全、安心
- ・ 災害に強いまちづくり
- ・ 空き家、荒廃地を活用
- ・ バス→目的地がはっきりした路線
- ・ 印西、鎌ヶ谷と合同で運行したらいい

主な意見まとめ

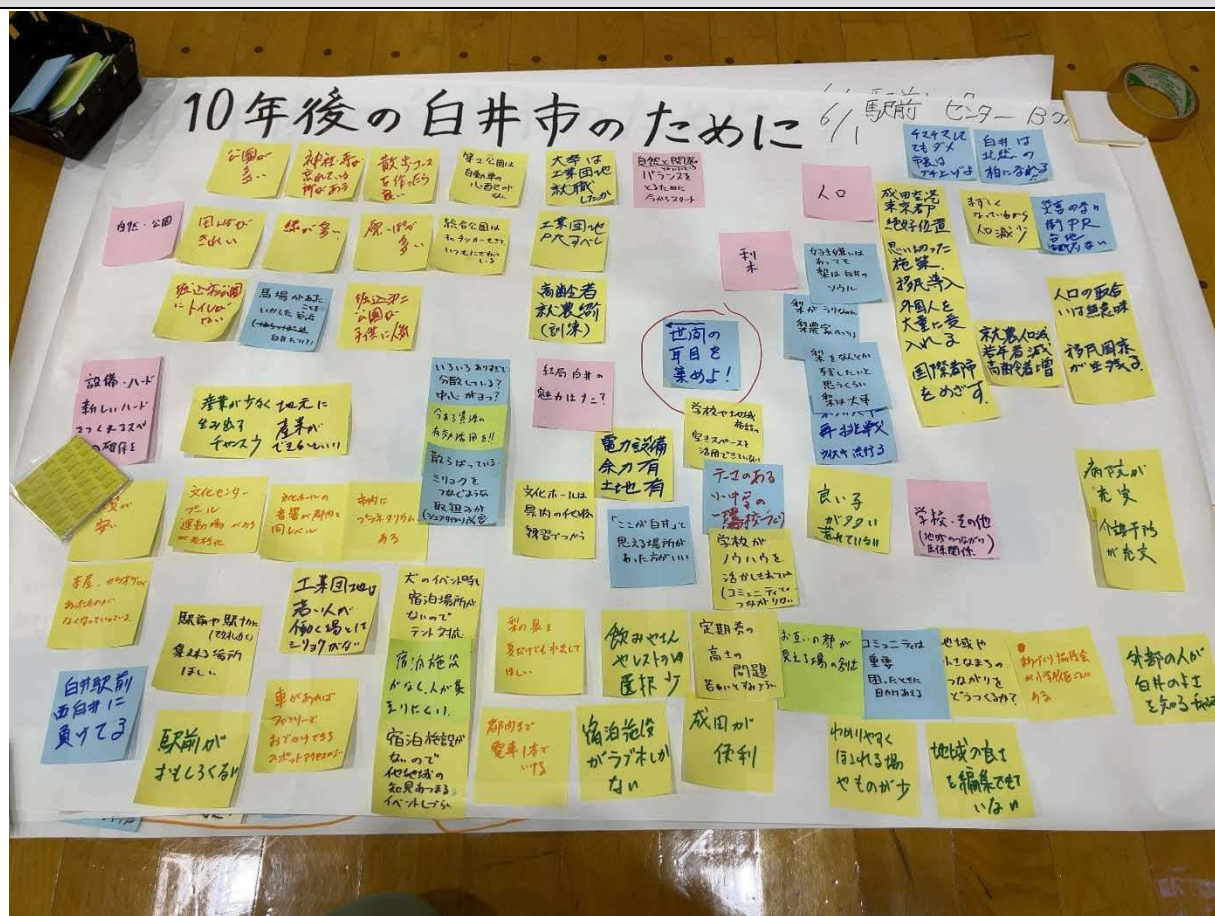
○白井は安心・安全で住みやすいが課題が多い

- ・ 若者が市外に出て、親世代が残っている
- ・ 商業・店舗は周辺市に任せ、白井は住宅地に特化しないと勝ち目がない

○若者を集める必要

- ・ 戸建を作るための土地が必要→調整区域を計画的に解除して土地を生む
- ・ 住みやすさ+αのコンテンツで、住む場所としての魅力を高める
 - ・ 梨だけに頼らない。地盤が良い、道路が整備され子育て環境が良い等の点を PR
 - ・ コミュニティ施設にリモートワークスペースを設け、子育てしながら働きやすい環境づくり
 - ・ リモートワークの仕事を市民に紹介して定着してもらう
 - ・ バスが不便、事業者によってバス停位置が点在
 - ・ 裏ミッションは北総線に頼らないまちづくり

Bグループ



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【自然・公園】

- ・公園が多い
- ・神社、寺が忘れていた所がある
- ・散歩コースを作ったら良い
- ・第2公園は自動車の心配がない
- ・田んぼがきれい
- ・緑が多い
- ・原っぱが多い
- ・総合公園はキッチンカーも来ていつも賑わっている
- ・堀込第2公園にトイレがない
- ・馬場があったことを生かした資源（原っぱは白井だけ？）
- ・堀込第2公園が子供に人気

【設備・ハード】

- ・新しいハードを造れるスペースの確保を
- ・産業が少なく生み出すチャンス少
- ・地元で産業ができるといい

・電力設備余力有、土地有

- ・「ここが白井」と思える場所があった方がいい
- ・定期券の高さの問題
- ・成田が便利
- ・お互いの顔が見える場の創出
- ・コミュニティは重要、困ったときに助け合える
- ・地域や小さなまちのつながりをどう作るか？
- ・分かりやすく誇れる場やものが少
- ・地域の良さを編集できていない
- ・まちづくり協議会が小学校区ごとにある
- ・外部の人が白井の良さを知るチャンス

【梨】

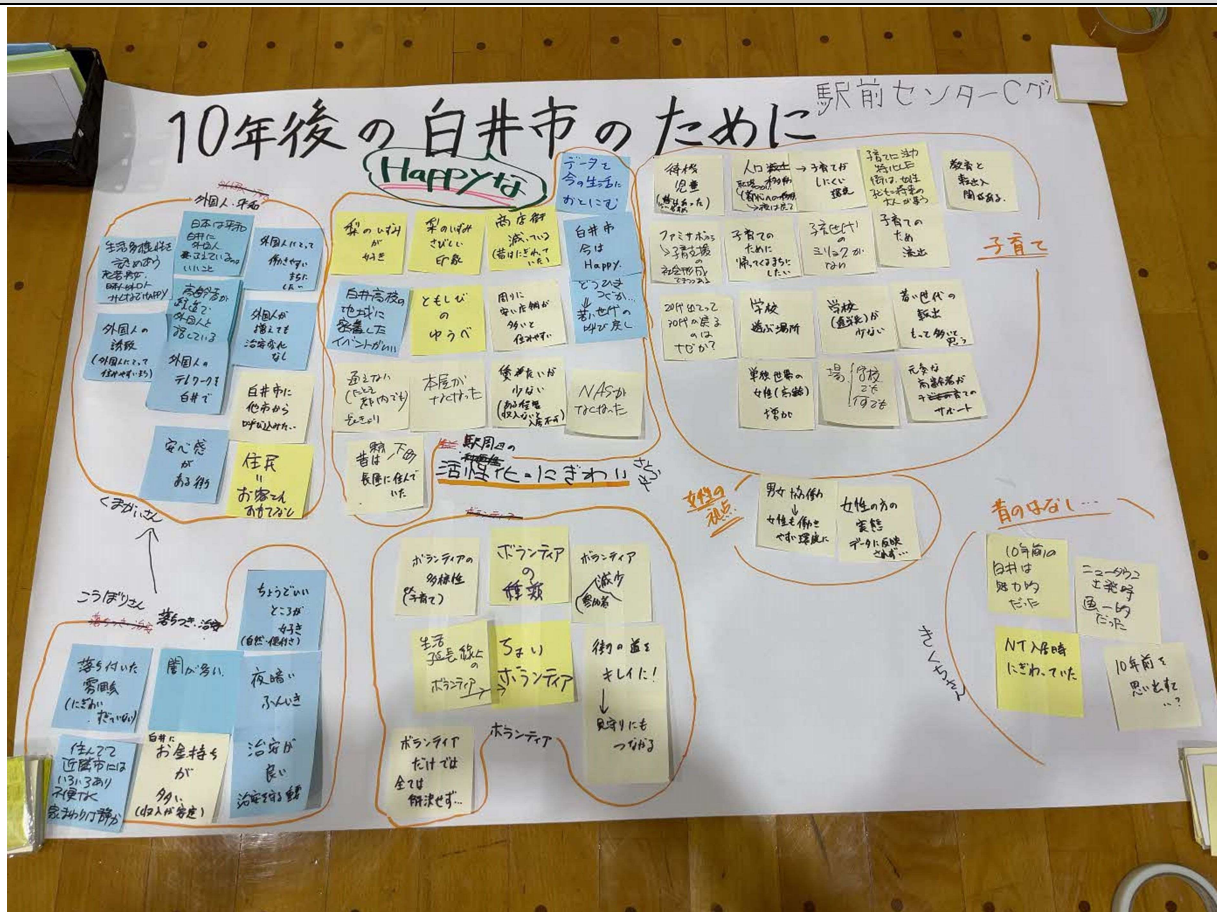
- ・好き嫌いはあっても梨は白井のソウル
- ・梨が売りなのに梨農家が減っている
- ・梨をなんとか残したいと思うくらい梨は大事

【人口】

- ・チマチマしててもダメ、市長はぶち上げよ
- ・白井は北総の柏になれる！

・家賃が安い ・文化センター、プール、運動場があるが老朽化 ・文化ホールの音響が都内と同レベル ・市内にプラネタリウムがある ・本屋、カラオケがあったものがなくなっている ・駅前や駅ナカ（改札近く）に集まれる場所ほしい ・工業団地は若い人が働くとして魅力がない ・白井駅前、西白井に負けてる ・駅前が面白くない ・車があればファミリーでお出かけできるスポットアクセスが良い ・いろいろありすぎて分散している？中心が 3 つ？ ・今ある資源の有効活用を！ ・散らばっているミリョクをつなぐような取り組み（シェアサイクル）が必要 ・文化ホールは県内の他校の練習で使う ・犬のイベント時も宿泊場所がないのでテント対応 ・宿泊施設がなく、人が集まりにくい ・宿泊施設がないので他地域の知見あつまるイベントしづらい ・梨の泉を夏だけでも水出してほしい ・都内まで電車 1 本でいける ・飲み屋さんやレストランの選択少 ・宿泊施設がラブホしかない	・災害のない街 PR、台地、活断層ない ・まずしくなっているから人口減少 ・成田空港、東京都、絶好位置 ・思い切った施策、移民導入、外国人を受け入れる、国際都市を目指す ・就農人口減、若年者減、高齢者増 ・人口の取り合いは無意味 ・移民国家が生き残る 【学校・その他（地域のつながり、医療関係）】 ・学校や地域の施設の空きスペースを活用できていない ・テーマのある小中学の一貫校づくり ・学校がノウハウを活かしきれてない（コミュニティとのつながりない） ・良い子が多い、荒れていない ・病院が充実 ・介護予防が充実 【その他】 ・自然と開発とかいいところのバランスを取るために今からスタート ・大卒は工業団地就職したか ・工業団地 PR すべし ・高齢者就農紹介（訓練） ・世間の耳目を集めよ！ ・結局白井の魅力はナニ？
主な意見まとめ	
○人口を増やすには思い切った施策が必要 ・空港や都心へのアクセス性を活かして、国際都市を目指す（外国人が就労や居住できる環境づくり） ・神社を新しく作る→お祭りなどで地域コミュニティができる→歴史・文化が継承される ○世間の耳目を集めるような取組 ・教育面での強みを生かして、テーマ性のある小中一貫校をつくる ・働く場所として工業団地もあるが、若い人を呼び込めるような PR が必要 ・白井の自然を巡る散策コースや、コミュニティサイクルの整備で町の様々な魅力を知ってもらう ・駅前や駅ナカに集まれる場所が欲しい、梨の泉を夏だけでも水出してほしい	

C グループ



ワークショップで挙がった意見(模造紙の内容)

【外国人・平和】

- ・日本は平和、白井に外国人増えているのはいいこと
- ・生活多様性を認め合う老若男女、日本人、外国人、みんなでHAPPY
- ・外国人の誘致(外国人にとって住みやすいまち)
- ・高齢者が緑道で外国人と話している
- ・外国人のテレワークを白井で
- ・外国人にとって働きやすいまちにしたい
- ・外国人が増えても治安変化なし
- ・白井市に他市から呼び込みたい
- ・安心感がある街
- ・住民＝お客さんをおもてなし

【落ち着き、治安】

- ・ちょうどいいところが好き(自然・便利さ)
- ・夜暗い雰囲気
- ・闇が多い
- ・落ち着いた雰囲気(賑わい過ぎていない)
- ・住んでて近隣市にはいろいろあり不便なく、家

【ボランティア】

- ・ボランティアの多様性(ex.子育て)
- ・ボランティアの種類
- ・ボランティア参加者減少
- ・生活延長線上のボランティア
- ・ちょいボランティア
- ・町の道をキレイに! → 見守りにもつながる
- ・ボランティアだけでは全ては解決せず...

【子育て】

- ・待機児童(昔(15~16年前)はあった)
- ・人口移動、職場か都心への移動→夜は戻る
- ・ファミサポから子育て支援の社会形成できつつある
- ・子育てのために帰ってくるまちにしたい
- ・子育て世代の魅力がない
- ・20代出てって30代が戻るのなぜか?
- ・学校、遊ぶ場所
- ・学校(通学先)が少ない
- ・単独世帯の女性(高齢)増加

周りは静か ・白井にお金持ちが多い（収入が安定） ・治安が良い、治安を守る重要 【駅周辺の活性化・にぎわい】 ・梨のいずみが好き ・梨のいずみさびしい印象 ・商店街減っている（昔は賑わっていた） ・データを今の生活に落とし込む ・白井市今は Happy ・どう引き継ぐか→若い世代の呼び戻し ・白井高校の地域に密着したイベントがいい ・ともしびのゆうべ ・周りに安い店舗が多いと住みやすい ・通えない（例え都内でも）長距離 ・本屋がなくなった ・賃貸が少ない（ある程度収入がないと入居不可） ・NAS がなくなった ・昔は東京下町の長屋に住んでいた	・場、学校でもなんでも ・若い世代の転出、もっと多いと思う ・元気な高齢者が子育てのサポート ・教育と転出入関係ある 【女性の視点】 ・男女協働→女性も働きやすい環境に ・女性の方の実態データに反映されず・・・ 【昔のはなし】 ・10 年前の白井は魅力的だった ・ニュータウン出発時、画一的だった ・NT 入居時賑わっていた ・10 年前を思い出す？
主な意見まとめ	
○外国人との共生・多様性 ・外国人は増えてきており、高齢者とのコミュニケーションもある。今後も増えていってほしい。 ・外国人は白井の治安の良さを買ってくれているのでは？ ・近隣市にはショッピングモール等色々あり不便なく、家の周辺は静か ○駅前で子供が遊べるまち ・昔白井の駅前には人がたくさんいた。お店も減り、駅前には人がいなくなった。 ・梨の泉は水が流れて、子どもも遊んでいて賑やかだった。梨の泉を復活させて駅前で子供が遊べるまちであってほしい。 ○若い世代が住みたくなるまち ・30 代で白井に戻る人が一定数いるのは白井の強み。若い世代を呼び込むため子育ての取組は重要。 ・白井市の近くに高等教育機関が少ない、以前は待機児童も多かった。 ・学校が遊ぶ場所になっていることや元気な高齢者がサポートしていることはプラス要素 ・ボランティアは町の魅力をあげる観点のひとつ。きれいなまちのためにもボランティア活動は重要	

A グループ



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【人口減少】

- ・人口減少（平塚）
- ・跡取りがない
- ・相続放棄する人が多い
- ・耕作放棄地が増えている
- ・子どもが少なくなっている
- ・子どもの声が聞こえない
- ・孫がいてくれるか心配
- ・空き家を有効活用
- ・2小の通学路で危険な所ある
- ・ホームレスが住み着いていたことも...
- ・2件くらい後継ぎする人がいる
- ・帰ってくる若者もいる（本郷）
- ・野菜農家は高齢者中心
- ・調整区域の解除
- ・土地の売買を自由にしてほしい
- 【担い手不足】
- ・集落の役員の成り手がいない（魅力がない）

【外国人交流】

- ・外国人との関わり増えた
- ・親同士の交流はできない、子ども同士でもコミュニケーションできない
- ・外国人が農地を買っている
- ・平塚十余人は外国人多い
- ・子どもに通訳させるのは負担
- ・通訳が必要と感じる
- ・子ども達はウェルカム
- ・2小はスリランカ多い、他ブラジルとか
- ・外国人にも参加して欲しい
- ・国際交流協会
- ・孤立からは何も生み出さない
- ・外国の人とコミュニケーションできればいい
- ・タブレットの翻訳

【不法投棄】

- ・不法投棄（富塚）
- ・ゴミステーション住民以外の方が捨てていく

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・今の人は地域に入りたくない人が増えている ・現役時代は地域のコミュニティに入れない ・昔はお母さんの集まりがあった ・子安講があったのになくなった ・昔とパターンを変えないといけない ・参加したいという人を増やさないと | <ul style="list-style-type: none"> ・道路沿い草深いと捨てられる ・農免道路 |
|---|---|

【その他】

- ・住むにはいい
- ・富塚から 16 号渡るのが危険
- ・スクールバスありがたい

【地域コミュニティ】

- ・ここ 2、3 年 PTA も変わってきている
- ・地区の中のつながりも減っている
- ・みどりの里づくり
- ・協議会を作って良かった
- ・小学校区でまとまってやっていきたい
- ・楽しい草刈りをする
- ・予算も人口割りで予算が少ない

主な意見まとめ

○人口減少

- ・農業の担い手不足によって耕作放棄地が増えている。調整区域の解除や土地売買が解決策。

○外国人との交流

- ・子どもは外国人を自然に受け入れる。外国人にもコミュニティに参画してほしいが、通訳が必要。

○地域コミュニティ

- ・集落役員の担い手不足。地域に入りたがらない人が増えている。
- ・現役時代は地域のコミュニティに入りづらい。昔は地域のお母さんのコミュニティがあった。
- ・PTA の変化、地区のつながりも減っている
- ・みどりの里づくり協議会の活躍が必要
- ・不法投棄、ゴミステーションに住民以外の人が捨てていく、道路にゴミが多い

○その他

- ・16 号を渡るのが危険→スクールバスありがたい

- ・高齢者が積極的に技術を利用
- ・耕作放棄地（生物多様性も）
- ・バス待ち危険！
- ・地域に関する学習
- ・自転車道あった方がいい（学生）
- ・耕作放棄地がない地区を作る
- ・自動運転リスクもあるが早めに実現できそう
- ・地域の環境の大切さ
- ・駅まで行くのが大変・・・
- ・自然学習地元の方の参加者少

【地域コミュニティ持続の工夫】

- ・地域コミュニティ役が多い！
- ・防犯カメラ設置

【無人でも安全・安心を守れるように】

- ・AED 数が限られている
- ・地域コミュニティ活気が下がると・・・防犯面の不安
- ・防犯パトロール定期的にやっている

主な意見まとめ

○道路環境、移動

- ・自動車移動が中心だが、高齢化が進み今後 10 年後を見据えると移動に不安を抱える人もいる
- ・公共交通機関の充実等で移動を支えていく必要がある
- ・道路環境としては、農免道路にゴミが多い、街灯が少なくて暗いことも問題

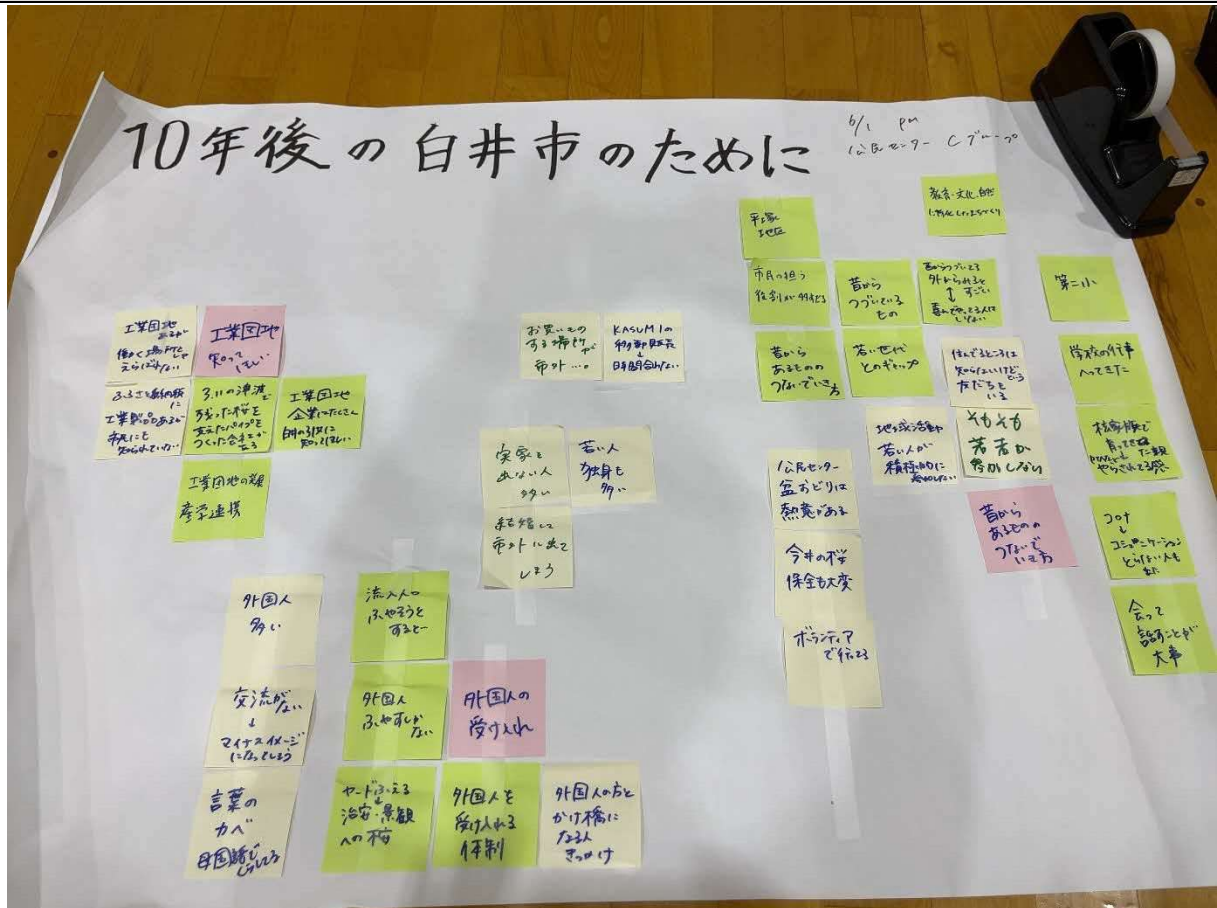
○環境・歴史についての魅力の発信

- ・白井市北部は豊かな自然が強みだが、環境資源が子ども達にあまり知られていない
- ・小中学生に限らずインフラ老朽化や農業の学習機会を設け、地域学習で知ってもらうことが重要

○地域コミュニティ持続の工夫

- ・若い世代が第 2 小学校区には戻りたくなるような、地域としての魅力を高めることが重要。
- ・地域コミュニティを持続させることが難しい。負担を補う手段として防犯カメラを増やす等もあり
- ・外国人の増加に対して子どもたちは理解があるが、コミュニティが限定される。相互理解が必要

C グループ



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【工業団地知って欲しい】

- ・工業団地あるが働く場所として選ばれない
- ・ふるさと納税に工業製品あるが市民にも知られていない
- ・3.11 の津波で残った桜を支えたパイプを作った会社がある
- ・工業団地の発展、産学連携
- ・工業団地企業はたくさん白井の子どもに知ってほしい

【外国人を受け入れる体制】

- ・外国人の方とかけ橋になる人、きっかけ
- ・外国人を受け入れる体制
- ・流入人口増やそうとすると...
- ・外国人増やすしかない
- ・ヤード増える→治安・景観への不安
- ・外国人多い
- ・交流がない→マイナスイメージになってしまう
- ・言葉の壁、母国語で暮らしている

【昔からあるもののつないでいき方】

- ・地域の活動に若い人が積極的に参加しない
- ・公民センター盆踊りは熱意がある
- ・今井の桜、保全も大変
(第二小)
- ・学校の行事減ってきた
- ・核家族で育ってきた親→PTA などやらされている感
- ・コロナ→コミュニケーション取らない人も
- ・会って話すことが大事
(平塚地区)
- ・市民の担う役割が多すぎる
- ・昔からあるもののつないでいき方
- ・昔から続いているもの
- ・若い世代とのギャップ
- ・昔から続いている外から見るとすごい⇒喜んでやっている人はいない

【その他】

- ・お買い物する場所が市外...
- ・KASUMI の移動販売→時間合わない

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教育・文化・自然に特化したまちづくり ・住んでいるところは知らないけどという友達もいる ・そもそも若者が参加しない | <ul style="list-style-type: none"> ・若い人独身も多い ・実家を出ない人多い ・結婚して市外に出てしまう |
|--|--|

主な意見まとめ

○工業団地の魅力の周知

- ・全国区で有名な会社もある。すごい会社もあることを若い世代に伝えていけば残ってくれるのでは。
- ・発展のために、産学連携で進めていく。

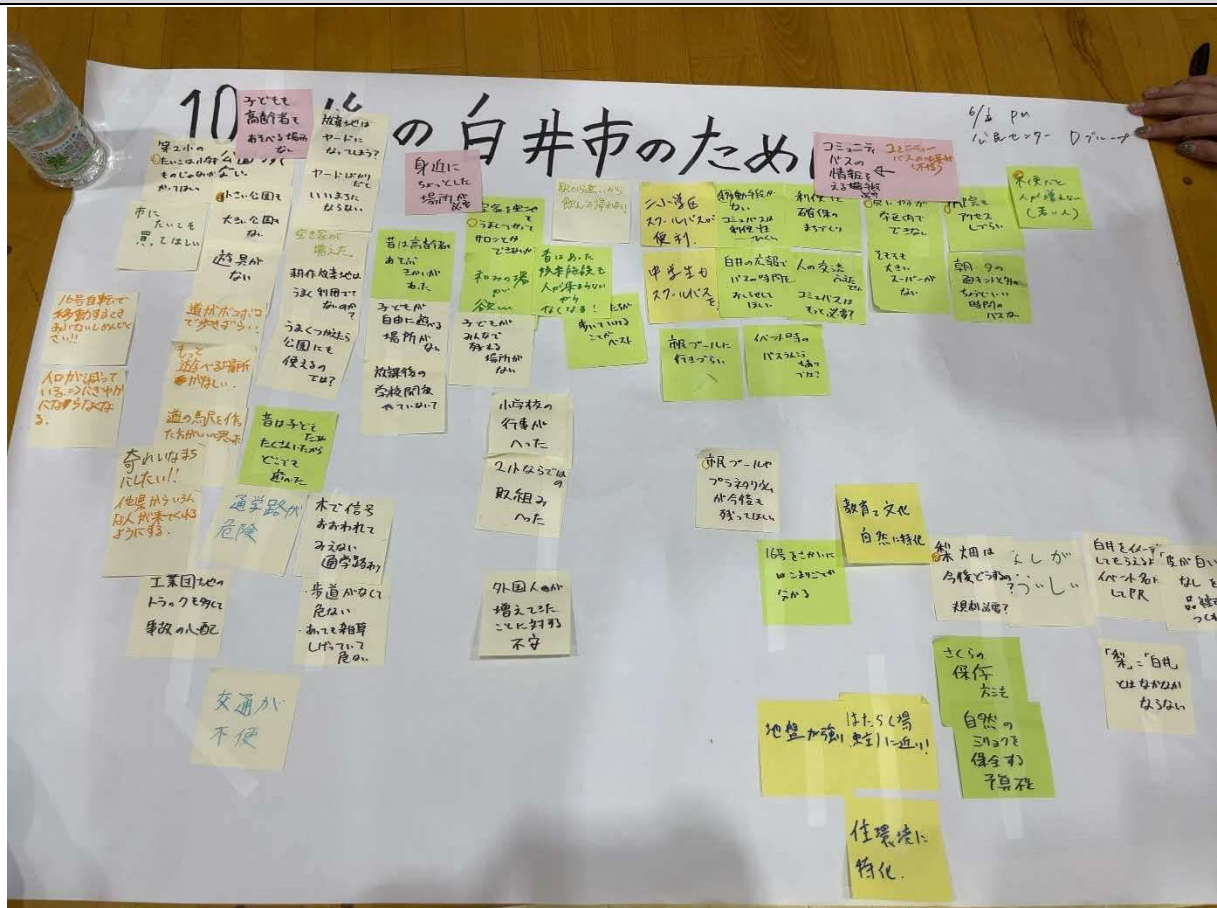
○外国人との共生

- ・外国人増加は事実であり、食い止めることはできないので、積極的に交流してコミュニティをつくっていく必要がある。
- ・不法就労が増えることやヤードが増えることは避けるべき

○昔からあるものとの共生

- ・歴史ある集落もあり、大人になると集落の役がまわってくる→子どもや孫世代は、大人達が役がまわって苦労しているのを見て残りたくないに出ていく。
- ・古いから切り捨てるのではなく、現代にあう持続可能な方法を模索していく必要がある

D グループ



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【子どもも高齢者も遊べる場所ない】

- ・第2小の太鼓は小学校のもののじゃないから買って欲しい
- ・市に太鼓を買って欲しい
- ・公園多くない
- ・小さい公園も大きい公園もない
- ・遊具がない
- ・道がボコボコで歩きづらい
- ・もっと遊べる場所が欲しい
- ・道の駅を作った方がいいと思った
- ・きれいなまちにしたい！
- ・他県からいろんな人が来てくれるようにする
- ・工業団地のトラックも多くて事故の心配
- ・16号自転車移動する時あぶないし面倒くさい！
- ・人口が減っている→賑やかにならなくなる
- ・放棄地はヤードになってしまう？
- ・ヤードばかりだといいまちにならない
- ・空き家が増えた

【バス、コミュニティバス】

- ・コミュニティバスの必要性（不用）→コミュニティバスの情報を得る手段必要
- ・二小学区スクールバスが便利
- ・移動手段がない、コミュバスは利便性低い
- ・利便性確保のまちづくり
- ・中学生もスクールバスを
- ・白井の広報でバスの時間をお知らせして欲しい
- ・人の交流増えたときにコミュバスはもっと必要？
- ・市民プールに行きづらい
- ・イベント時のバス運行もあっては？
- ・買い物が学区内でできない
- ・そもそも大きいスーパーがない
- ・病院もアクセスしづらい
- ・朝・夕の通勤以外にちょろい時間のバスがない
- ・不便だと人が増えない（若い人）

【その他】

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地はうまく利用できないのか ・うまく使えたら公園にも使えるのでは？ ・昔は子どもたちがたくさんいたからどこでも遊べた ・通学路が危険 ・木で信号覆われて見えない通学路あり ・歩道がなくて危ない、あっても雑草茂っていて危ない ・交通が不便 【身近にちょっとした場所が必要】 ・昔は高齢者も遊ぶ機会があった ・子どもが自由に遊べる場所がない ・放課後の学校開放やっていない？ ・空き家や空地をうまく使ってサロンとかできないか ・なごみの場が欲しい ・駅から遠いから飲んで帰れない ・昔はあった娯楽施設も人が集まらないからなくなる！ ・子どもがみんなで残れる場所がない ・小学校の行事が減った ・二小ならではの取組み減った | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人が増えてきたことに対する不安 ・市民プールやプラネタリウムが今後も残って欲しい ・16号を境に困りごとが分かる ・教育と文化、自然に特化 ・梨畑は今後どうするの？規制が必要？ ・梨がおいしい ・白井をイメージしてもらえそうなイベント名にしてPR ・「皮が白い」梨を品種改良で作れないか ・「梨」＝「白井」とはなかなかならない ・桜の保存方法 ・自然の魅力を保全する予算不足 ・地盤が強い ・働く場（東京）に近い！ ・住環境に特化 |
|--|---|

主な意見まとめ

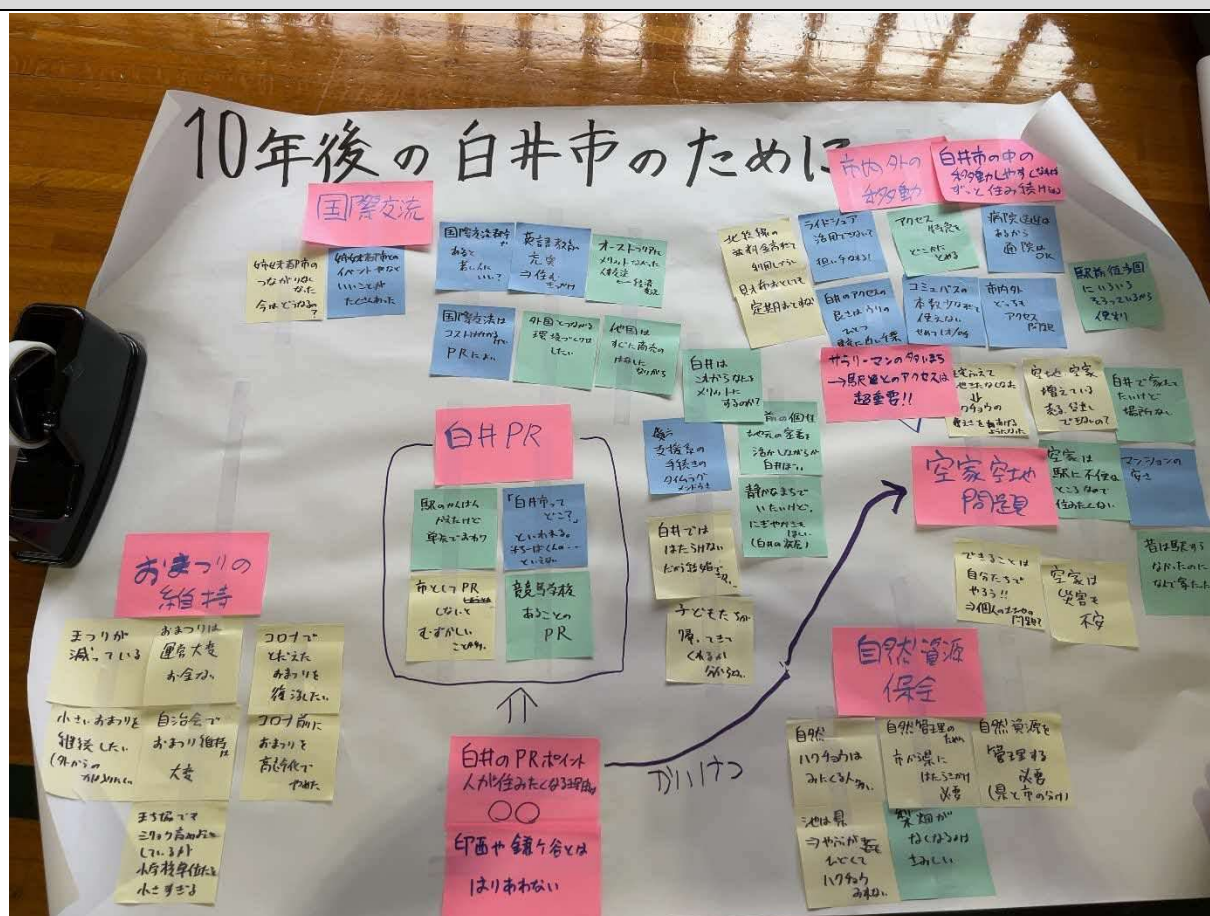
○コミュニティバス・移動手段

- ・地区の面積が広く、高齢者は免許返納後の移動手段が問題
- ・病院・市役所にバスで行く必要あり。市外へも白井駅に出る必要あり。
- ・コミュニティバスはあるが時間が良くわからない→情報を得る場所があれば良い

○遊ぶ場所の少なさ

- ・子どもたちから公園・遊ぶ場所の少なさの意見が出た。実は高齢者も遊ぶ場所がない。
- ・空き家を活用してサロンみたいにして、皆が身近に集まれる場所を作れないか。
- ・市民プールや大きな公園に行くにも、危険な道路を通る必要あり→バス路線の整備や身近な遊ぶ場所が重要

A グループ



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【国際交流】

- ・姉妹都市のつながりなくなった今はどうなるの？
- ・姉妹都市とのイベントなどいいことがたくさんあった
- ・国際交流都市があると若い人にいい？
- ・英語教育が充実→住むきっかけ
- ・オーストラリアにメリットなかった、人事交流⇔経済交流
- ・国際交流はコストはかかるけどPRに良い
- ・外国とつながる環境づくりはしたい
- ・他国はすぐに商売の話しになりがち
- ・白井はこれから何をメリットにするのか？

【市内外の移動】

- ・白井市の中の移動がしやすくなればずっと住み続けられる
- ・北総線の料金高すぎて利用しづらい
- ・財布落としても定期落とすな

【自然資源保全】

- ・自然、白鳥は見に来る人多い
- ・池は県→藪がひどくて白鳥見れない
- ・自然管理のために市から県に働きかけ必要
- ・梨畑がなくなるのはさみしい
- ・自然資源を管理する必要（県と市の分け）

【お祭りの維持】

- ・祭りが減っている
- ・小さいお祭りを継続したい（外からの力が入りにくい）
- ・お祭りは運営大変、お金ない
- ・自治会でお祭り維持は大変
- ・まち協でも魅力高めようとしているが小学校単位だと小さすぎる

- ・コロナで途絶えたお祭りを復活したい
- ・コロナ前にお祭りを高齢化でやめた

【白井PR】

- ・駅の看板変えたけど単発で終わり

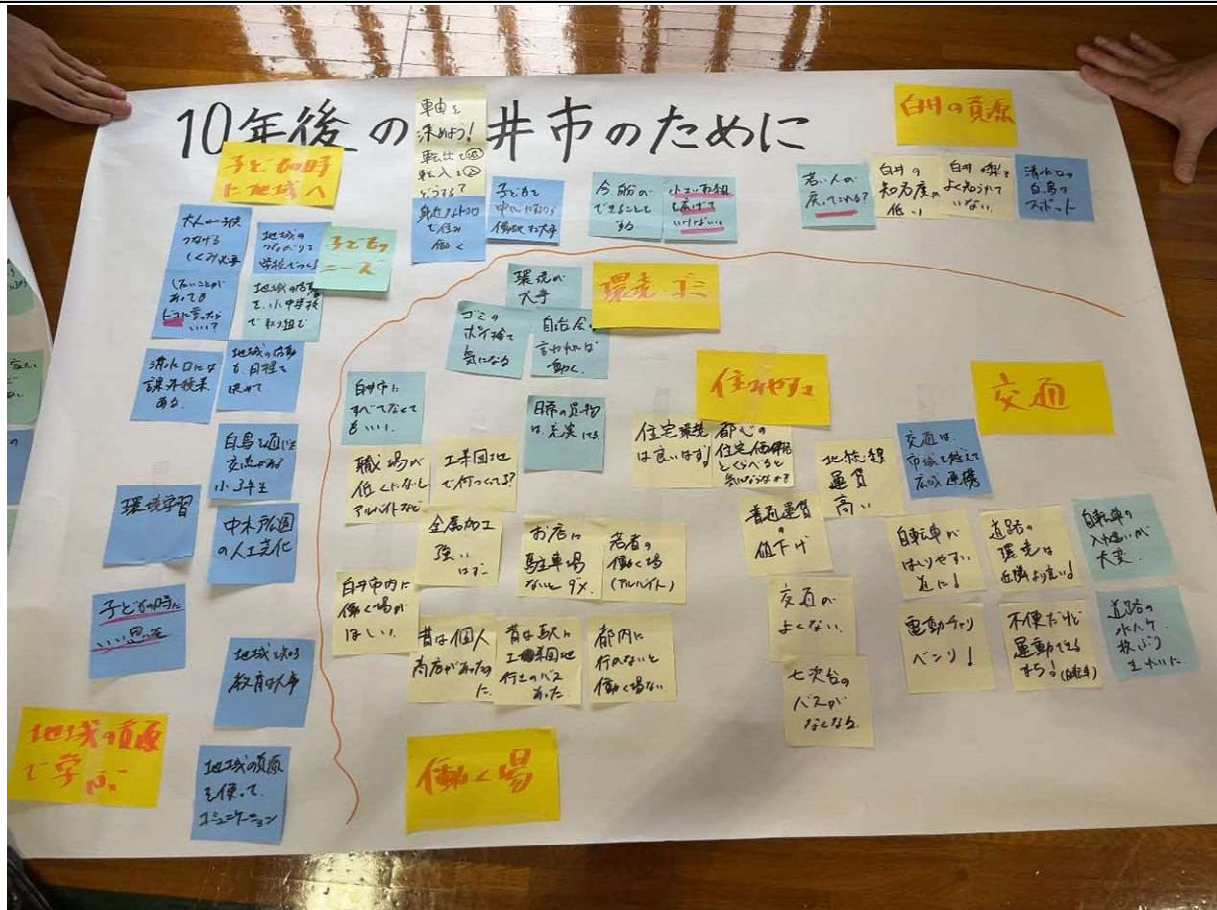
- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ライドシェア活用できない？担い手になれる！ ・白井のアクセスの良さは売りの一つ、東京に近い千葉 ・アクセス特急をどこかにとめる ・病院送迎はあるから通院は OK ・コミュバスの本数少なすぎて使えない、せめて 1 本/時 ・市内外どちらもアクセス問題 ・駅前徒歩圏にいろいろ揃っているから便利 ・サラリーマンの多いまち→駅とのアクセスは超重要 <p>【空き家・空地問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家は駅に不便なところなので住みたくない ・マンションの安さ ・昔は駅すらなかったのになんで家建ったのか ・空き家は災害も不安 ・できることは自分たちでやろう！→個人の土地の問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・市として PR しないと難しいことが多い ・「白井市ってどこ？」と言われる（チーバくんの・・・と言えない） ・競馬学校あることの PR ・白井の PR ポイント、人が住みたくなる理由は ○○ ・印西や鎌ヶ谷とは張り合わない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前の個性、地元の密着を活かしながら白井っぽい ・支援系の手続きのタイムラグ、面倒 ・静かなまちでいたいけど、にぎやかさも欲しい（白井の発展） ・白井では働けない、だから結婚できない ・子どもたちが帰ってきてくれるか分からない |
|--|--|

主な意見まとめ

○住みやすさ

- ・白井として PR するものがなく、市外の人への説明も難しい：松戸の横、新鎌ヶ谷の次
- ・白井の住みやすさを PR するのであれば、市内の移動を充実させてはどうか。コミュニティバスの見直しや、ライドシェアの活用など。駅勢圏には色々揃っているから便利である。
- ・サラリーマンが多いまち→駅とのアクセスはとても重要
- ・住みやすさの観点でも、自然資源の保全も必要
- ・空き家・空地の活用など、土地の利活用も重要
- ・国際交流の環境づくりはしたい
- ・近年減りつつあるお祭りを継承していくことが重要

B グループ



【子供の時に地域へ】

- ・大人⇄子どもつなげる仕組み必要
- ・したいことがあってもどこに行ったらいい？
- ・清水口には課外授業ある
- ・地域のつながりを学校でつくる
- ・子どものニーズ
- ・地域の活動を小中学校で取り組む
- ・地域の活用も日程を決めて

【地域の資源で学ぶ】

- ・白鳥を通じた交流がある小3年生
- ・環境学習
- ・中木戸公園の人工芝化
- ・子どもの時にいい思いを
- ・地域を知る教育は大事
- ・地域の資源を使ってコミュニケーション

【白井の資源】

- ・清水口の白鳥はスポット
- ・白井の梨をよく知られていない
- ・白井の知名度が低い
- ・若い人が戻ってこれる？

【交通】

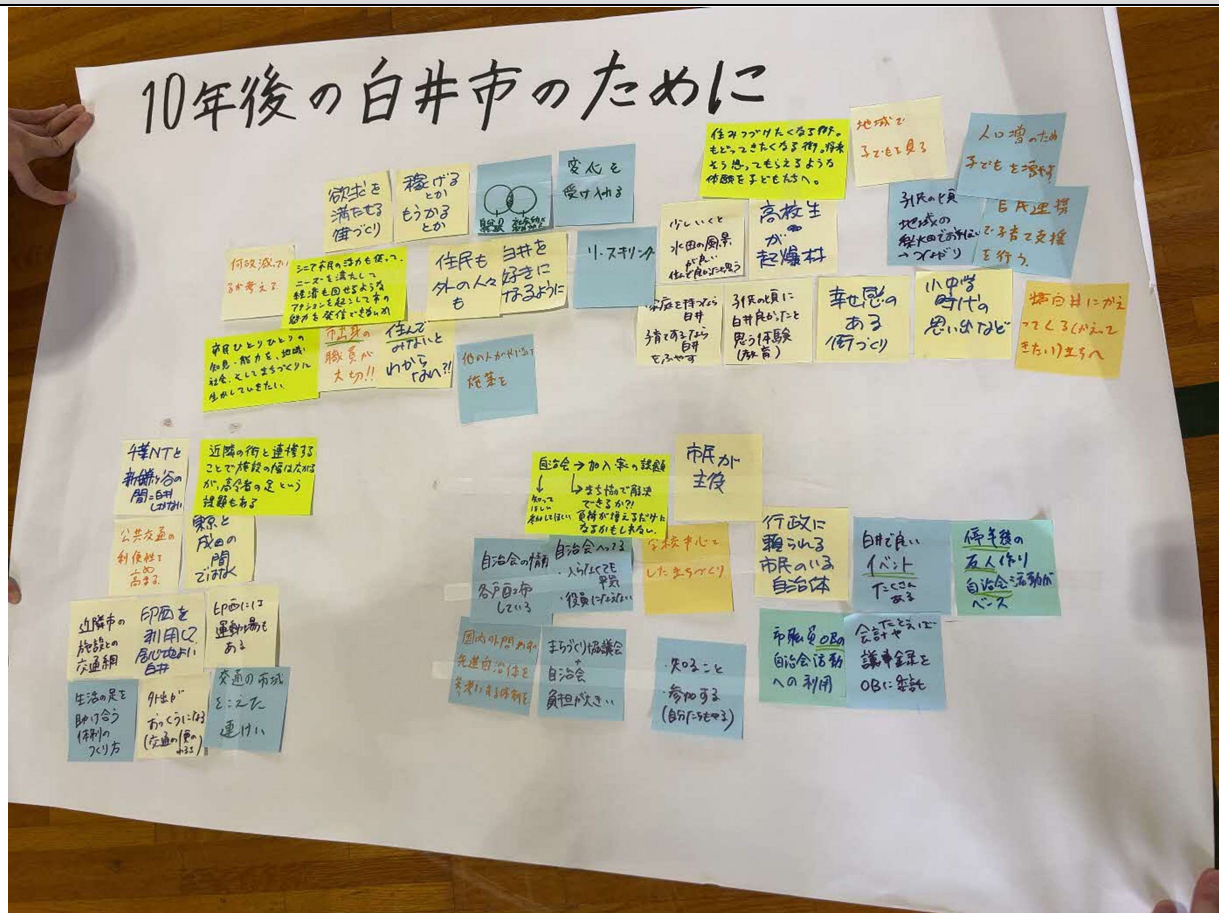
- ・普通の運賃の値下げ
- ・北総線運賃高い
- ・交通は市域を超えて広域連携
- ・自転車が走りやすい道に！
- ・道路の環境は近隣より良い！
- ・交通が良くない
- ・七次台のバスがなくなる
- ・電動チャリ便利！
- ・不便だけど運動できるまち（自転車）
- ・自転車の入れ違いが大変
- ・道路の水はけ、きれいに

【働く場】

- ・若者の働く場（アルバイト）
- ・都内に行かないと働く場ない
- ・お店に駐車場ないとダメ
- ・昔は駅に工業団地行きのバスあった
- ・昔は個人商店があったのに
- ・白井市内に働く場欲しい
- ・工業団地で何作ってる？

【環境・ゴミ】 ・環境が大事 ・ゴミのポイ捨て気になる ・自治会に言われれば動く 【住みやすさ】 ・日常の買物は充実してる ・住環境は良いはず！ ・都心の住宅価格と比べると気にならないかも	・金属加工強いはず・・・ ・職場が近くないとアルバイトなど ・白井市にすべてなくてもいい 【その他】 ・軸を決めよう！転出減、転入を増、どうする？ ・身近な所で住み働く ・子どもを中心にするなら働きやすさ大事 ・今、自分ができていることをする ・小さい取り組みを広げていけばいい
主な意見まとめ	
○生活環境、交通 ・雑草の多い場所へのごみのポイ捨てが気になる。自治会は、言われれば対応する。 ・道路環境は近隣市よりも良い。公共交通は不便だが自転車で健康なまち。 ○住みやすさ ・都心に近く色々な場所にいけるので、白井市内に色々求めなくてよい。 ・住宅環境は良いが、市内に働く場所がない。 ○地域資源と学習 ・地域として意思を伝えるために、地域の活動を学校で取組む。例えば、ゴミ拾いなど白井に関わる取組を授業の一環として実施するなど。取組を通じて地域を知り、つながることでUターンもあるのでは。 ・清水口は白鳥のスポット等地元の人しか知らない小さな魅力を共有して広げていきたい。 ・中木戸公園はアクセスが良い→人工芝を整備して使いやすくしてほしい	

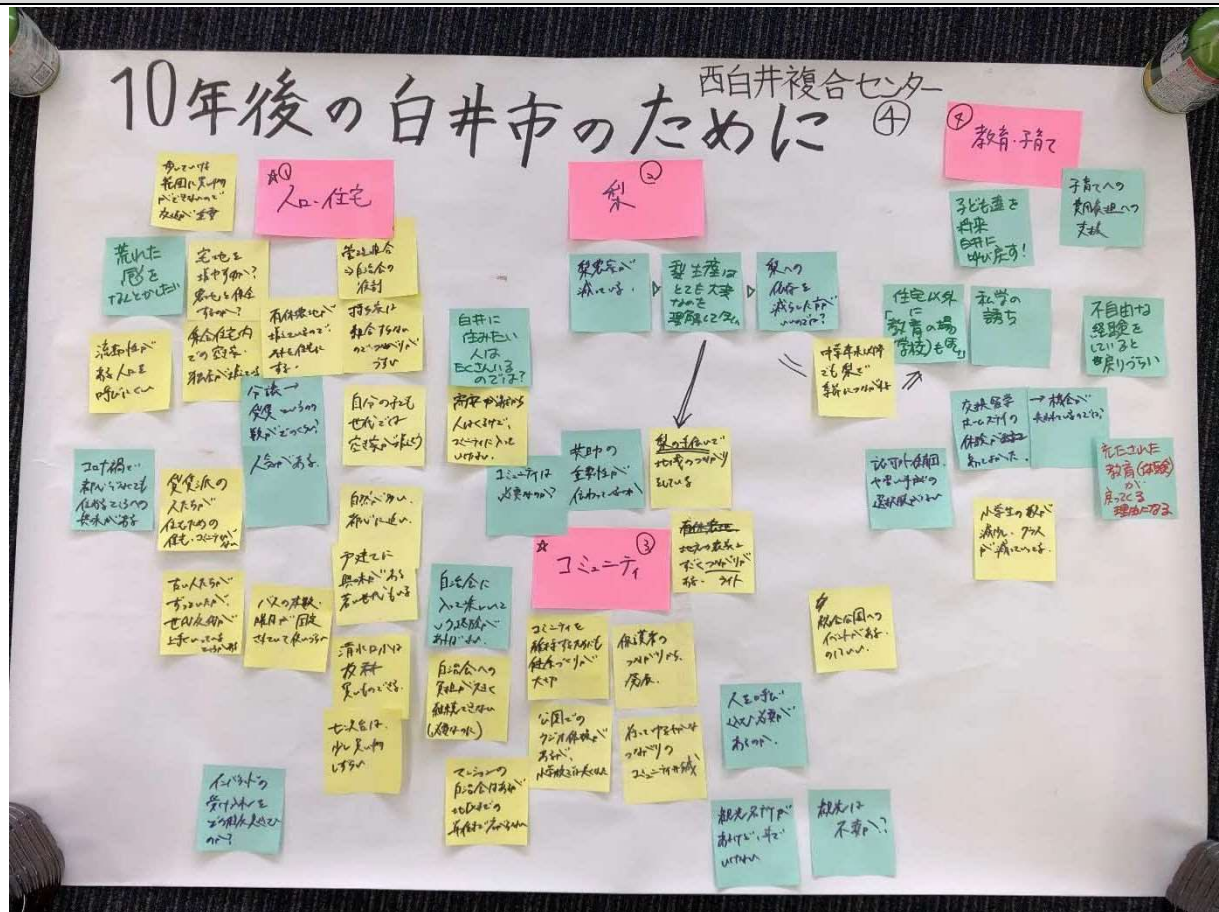
C グループ



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

- ・変化を受け入れる
- ・稼げるとか儲かるとか
- ・欲求を満たせる街づくり
- ・なぜ減っているか考える
- ・シニア市民の活力も使ってニーズを満たして経済も回せるようなアクションを起こして市の魅力を発信できないか
- ・住民も外の人々も白井を好きになるように
- ・市民ひとりひとりの知見・能力を、地域、社会、そしてまちづくりに生かしていきたい
- ・市出身の職員が大切！
- ・住んでみないと分からない？！
- ・他の人がやらない施策を
- ・リスキリング
- ・住み続けたいくなる街、戻ってきたいくなる街、将来そう思ってもらえるような体験を子どもたちへ
- ・少し行くと水田の風景が良い、住んで良かった
- ・近隣の街と連携することで施設の幅は広がるが、高齢者の足という課題もある
- ・千葉 NT と新鎌ヶ谷の間＝白井しかない
- ・公共交通の利便性を高める
- ・東京と成田の間ではなく
- ・近隣市の施設との交通網
- ・印西を利用して居心地よい白井
- ・印西には運動場もある
- ・生活の足を助け合う体制の作り方
- ・外出がおっくうになる（交通の便の悪さ）
- ・交通の市域を超えた連携
- ・市民が主役
- ・自治会→加入率の課題
- ・自治会→知って欲しい、参加して欲しい
- ・自治会→まち協で解決できるか？！負担が増えるだけになるかもしれない
- ・自治会の情報、各戸配布している
- ・自治会入ってる、入らなくても平気、役員にな

と思う ・ 高校生が起爆剤 ・ 家庭を持つなら白井、子育てするなら白井を増やす ・ 子どもの頃に白井良かったと思う体験（教育） ・ 幸せ感のある街づくり ・ 子どもの頃、地域の梨畑でお手伝い→つながり ・ 地域で子どもを見る ・ 小中学時代の思い出など ・ 人口増のため子どもを増やす ・ 官民連携で子育て支援を行う ・ 白井に帰ってくる（帰ってきたい）まちへ	れない ・ 国内外問わず、先進自治体を参考にする体制に ・ まちづくり協議会＋自治会、負担が大きい ・ 学校を中心としたまちづくり ・ 知ること、参加すること（自分たちもやる） ・ 行政に頼られる市民のいる自治体 ・ 白井で良いイベントたくさんある ・ 定年後の友人作り、自治会活動がベース ・ 市職員 OB の自治会活動への利用 ・ 例えば、会計や議事録を OB に委託
主な意見まとめ	
○若者の定住 ・ 子供達に白井に住み続けてもらいたい。白井に戻って子育てしてもらいたい→「子どもを育てるなら白井」という話を広めて人口を定着させる。また、白井で育った経験は、白井に戻りたくなる要素として重要。 ○近隣市との連携、交通 ・ 近隣市と連携することで施設のバラエティは広がる一方、高齢者の足の確保が課題。 ○コミュニティへの参画 ・ 自治会加入率が低く、新たな住民は地域のつながりが希薄→気軽に話せる人が近くにいることはウェルビーイングにつながる ・ PTA、自治会＋αでまちづくり協議会の役員を担うのは負担が大きすぎる ・ 白井の魅力を住民・職員一丸となって、ニーズ満たしながらアクション出来るようにする。そのような仕組みづくりが必要	



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【人口・住宅】

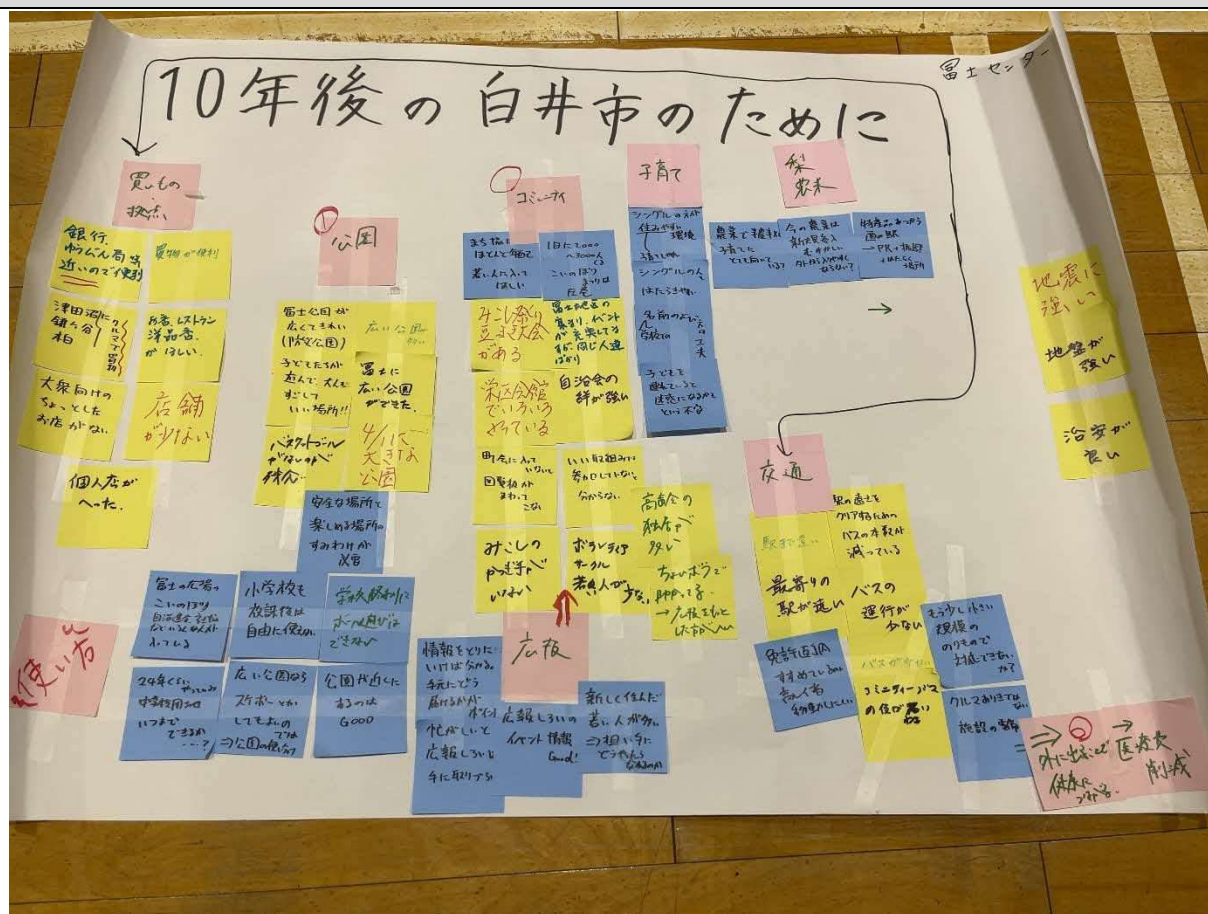
- ・歩いて行ける範囲で買い物ができないので交通が重要
- ・荒れた感をなんとかしたい
- ・宅地を増やすのか？農地を保全するのか？
- ・流動性がある人口を呼びにくい
- ・集合住宅内での空き家、独居が増えている
- ・遊休農地が増えているので、それを住宅にする
- ・分譲→賃貸というものの数がどのくらい？人気がある
- ・管理組合→自治会の役割
- ・持ち家は組合すらないので、つながりが薄い
- ・自分の子ども世代では空き家が増えそう
- ・賃貸派の人たちが住むための住宅・コミュニティがない
- ・コロナ禍で都心でなくても住めるところへの興味がある
- ・自然が多い、都心に近い
- ・戸建てに興味がある若い世代もいる

【コミュニティ】

- ・白井に住みたい人はたくさんいるのでは？
- ・コミュニティは必要なのか？
- ・需要があるから人はくるけど、コミュニティに入っていけない
- ・共助の重要性が伝わっているのか
- ・梨の手伝いで地域のつながりをしている
- ・地元の農家はすごくつながり（ライト）がある
- ・総合公園へのイベントがあるのはいい
- ・人を呼び込む必要があるか
- ・観光は不要か？
- ・観光名所があるけど車で行けない
- ・保護者のつながりから発展
- ・ゆるやかなつながりのコミュニティ形成
- ・コミュニティを維持するためにも健康づくりが大切
- ・公園でのラジオ体操があるが、小学校ではなくなった
- ・自治体に入って楽しいという経験があれば良い

・バスの本数、曜日が固定されていて使いづらい ・古い人たちがずっといたが、世代交代がうまく行っているところがある ・インバウンドの受け入れをどの程度見込むのか？ ・清水口小は買い物ができる ・七次台は少し買い物しづらい 【梨】 ・梨農家が減っている ・梨生産はとても大変なのを理解して欲しい ・梨への依存を減らした方がいいのでは？ ・中学卒業以降でも梨で季節につながる	・自治会への負担が大きく継続できない（必要なのに） ・マンションの自治会はあるが地区までの単位まで広がらない 【教育・子育て】 ・子育てへの費用負担への支援 ・子ども達を将来白井に呼び戻す！ ・住宅以外に「教育の場（学校）」も欲しい ・私学の誘致 ・不自由な経験をしていると戻りづらい ・認可外保育園や習い事との選択肢がない ・交換留学、ホームステイの体験があって良かった→機会が失われているのでは ・満たされた教育(体験)が戻ってくる理由になる
主な意見まとめ	
○人口、住宅 ・持ち家は組合すらないのでつながりが希薄。近年は空き家が多く、治安等への不安がある。 ・賃貸住宅の需要は大きいですが、供給がない。戸建てに興味のある若い世代もいる。 ○梨の価値 ・梨農家が減少している。梨の生産は重労働であることを理解してほしい。 ・梨のブランドは重要。一方、市として梨に依存しすぎない方が良いという考え方もある。 ○コミュニティ ・自治会の負担が大きく維持が困難。共助の重要性が伝わっているのか。 ・自治会に入って楽しいという経験が作れば良い。 ○子育て・教育 ・教育分野への支援を手厚くしてほしい。大学を誘致できないか。オンラインも考えられる。 ・昔はオーストラリアとの交流があった。 ・子どもたちが高校以降で市外へ出た後、ゆくゆくは白井に戻ってきて生活してほしい	

A グループ



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【買い物・拠点】

- ・銀行、郵便局等、近いので便利
- ・買い物が便利
- ・津田沼、鎌ヶ谷、柏に車で買い物
- ・お店、レストラン、洋品店が欲しい
- ・大衆向けのちょっとしたお店がない
- ・店舗が少ない
- ・個人店が減った

【公園】

- ・富士公園が広くてきれい（防災公園）
- ・（防災公園）子ども達が遊んで大人も過ごしたい場所！
- ・広い公園が多い
- ・富士に広い公園できた
- ・バスケットゴールがないのが残念
- ・4/11 に大きな公園

【使い方】

- ・富士の広場のこいのぼり、自治連合、社協など

【広報】

- ・情報を取りに行けば分かる、手元にどう届けるかがポイント
- ・忙しいと広報しろいを手に取りづらい
- ・広報しろいのイベント情報 good！
- ・新しく住んだ若い人が多い→担い手にどうやったらなれるのか

【子育て】

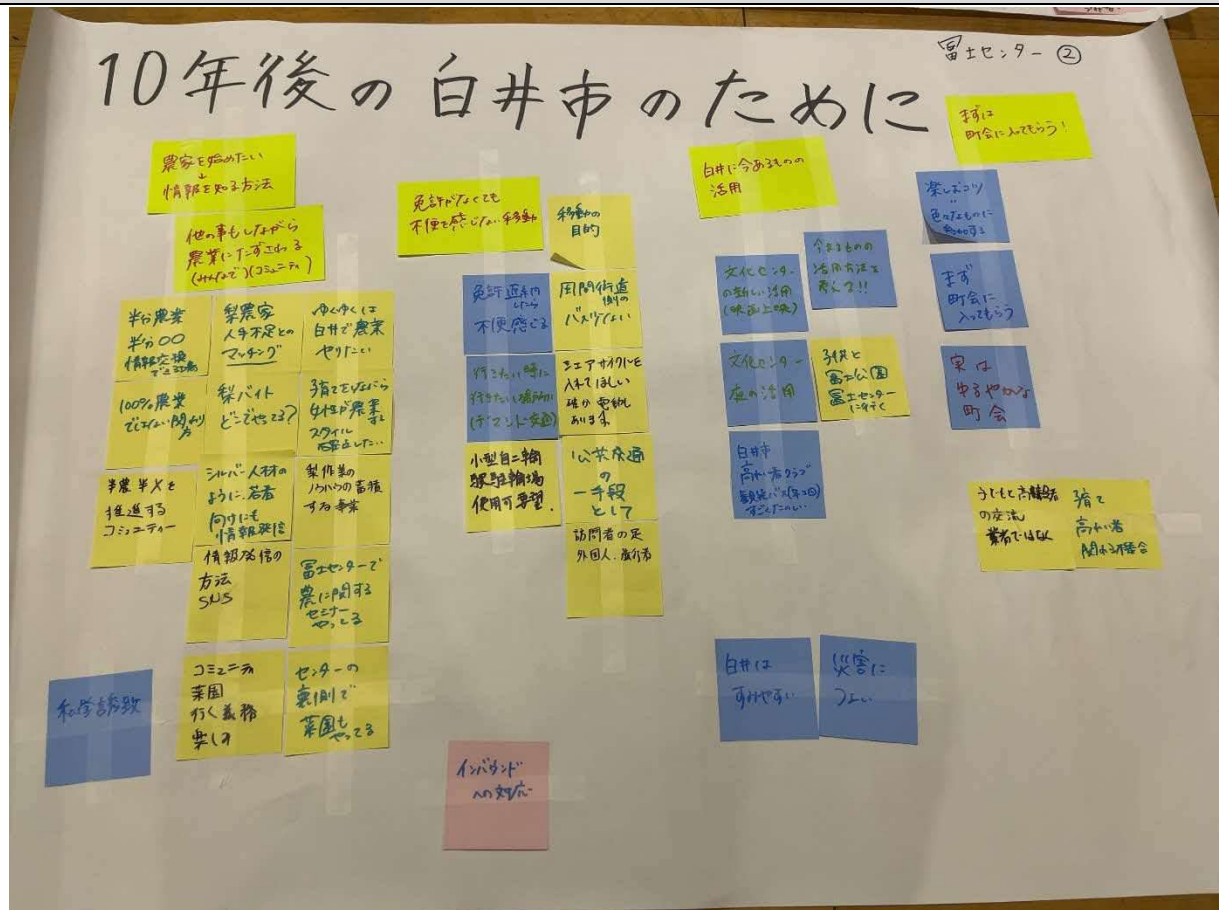
- ・シングルの方が住みやすい環境
- ・シングルの人も働きやすい
- ・学校での名前の呼び方の工夫
- ・子どもを連れて来ていると迷惑になるかもという不安

【梨・農業】

- ・農業で半農半X、子育てにとっても向いている？
- ・今の農業は新規参入難しい、外から入りやすいならない？
- ・特産品扱う道の駅→PR+振興+働く場所

いろいろな人が入っている ・24 年くらいやっている中学校用地いつまでで きるか？ ・小学校も放課後は自由に使えない ・広い公園ならスケボーとかしても良いのでは→ 公園の使い分け ・安全な場所と楽しめる場所のすみ分けが必要 ・学校終わりにボール遊びはできない ・公園が近くにあるのは good 【コミュニティ】 ・まち協はほとんど年配、若い人に入ってほしい ・1 日に 2,000～3,000 人来る、こいのぼり祭りは 圧巻 ・みこし祭り、豆まき大会がある ・富士地区の集まり、イベントが充実しているが、 同じ人たちばかり ・自治会の絆が強い ・栄区会館でいろいろやっている ・町会に入っていないと回覧版が回ってこない ・いい取り組みでも参加していないと分からない ・神輿の担ぎ手がない ・ボランティアサークル若い人が少ない ・高齢の独居が多い ・ちょいボラで助かってる→広報をもっとした方 がいい	【交通】 ・駅まで遠い ・最寄りの駅が遠い ・免許返納進めている人、高齢者移動しにくい ・駅の遠さをクリアするためのバスの本数が減っ ている ・バスの運行が少ない ・バスが少ない ・コミュニティバスの便が悪い ・もう少し小さい規模の乗り物で対応できない か？ ・車ありきではない施設の整備 ・外に出ることで健康につながる→医療費削減 【その他】 ・地震に強い ・地盤が強い ・治安が良い
主な意見まとめ	
○公園 ・富士公園は広くてきれいでいいが、ボール遊びと小さい子ども連れ、犬の散歩など使い分けが必要 ・放課後にサッカーやバスケができる場所がない ○コミュニティ ・富士地区はこいのぼり祭りなどイベントが充実しているが、同じ人ばかり ・高齢者が元気に活動しているが、若者が参画する機会がない ・情報が届かない→情報をとりにいかなくてもより多くの人に伝わるような方策が課題 ○交通 ・西白井駅までは距離があり、コミュニティバスの減便で外に出ることが億劫になっている。 ・郵便局とかは近いが、娯楽としての買い物は車がないと難しい→免許返納したら外に出る機会が減 り、足腰弱くなって健康にも影響 ・車がない人でも出かけやすくなるといい	

B グループ



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

- 【農家を始めたい→情報を知る方法、他の事しながら農業に携わる（みんなで）（コミュニティ）】
 - ・半分農業半分〇〇、情報交換できる場
 - ・梨農家人手不足とのマッチング
 - ・ゆくゆくは白井で農業やりたい
 - ・100%農業ではない関わり方
 - ・梨バイトどこでやってる？
 - ・子育てをしながら女性が農業するスタイル確立したい
 - ・半農半Xを推進するコミュニティ
 - ・シルバー人材のように、若者向けにも情報発信
 - ・情報発信の方法、SNS
 - ・梨作業のノウハウの蓄積する事業
 - ・富士センターで農に関するセミナーやってる
 - ・コミュニティ菜園行く義務、楽しみ
 - ・センターの裏側で菜園もやってる
- 【免許がなくても不便を感じない移動】
 - ・移動の目的
 - ・免許返納したら不便感じる
 - ・小型自二輪、駐駐輪場使用可要望
 - ・公共交通の一手段として
 - ・訪問者の足、外国人、旅行者
- 【白井に今あるものの活用】
 - ・文化センターの新しい活用（映画上映）
 - ・今あるものの活用方法を考える！
 - ・文化センター庭の活用
 - ・子どもと富士公園、富士センターに行く
 - ・白井市高齢者倶楽部、観光バス（年2回）すごく楽しい
- 【まずは町会に入ってもらおう！】
 - ・楽しむコツ＝色々なものに参加する
 - ・まず町会に入ってもらおう
 - ・実は緩やかな町会
- 【その他】
 - ・私学誘致
 - ・インバウンドへの対応
 - ・白井は住みやすい
 - ・災害に強い

- ・行きたい時に行きたい場所に（デマンド交通）
- ・子どもと高齢者の交流、業者ではなく
- ・風間街道側のバス少ない
- ・子育て、高齢者関わる機会
- ・シェアサイクルを入れて欲しい、確か電動もあります

主な意見まとめ

○半農半 X を通じたつながり

- ・農業を始めたいが情報知の方法が良くわからない→富士センターで農に関するセミナーを行っているし、農家の知り合いもいる。農家の人手不足とのマッチング
- ・100%農業ではない関わり方、子育てしながら農業するスタイルを確立したい

○免許がなくても不便を感じない移動

- ・運転手が少なくバスも減便。免許を返納すると移動できなくなる。
- ・移動の工夫が必要→デマンドやシェアサイクル等、車に頼らない交通システムの整備が必要

○白井に今あるものを活用

- ・富士公園等の白井にある施設をどんどん活用できるようにする。
- ・地域の施設を利用するためにも、そこまで行くための交通が必要。

○コミュニティ

- ・楽しむコツは色々なものに参加すること→コミュニティはまず町会に入ってもらおう。
- ・高齢者や子育て世代など多様な世代が関わる機会があると良い

C グループ



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【交通対策（道路）】

- ・歩道の整備
- ・農地のうちに何とかならないか
- ・富士センター通りセットバック、道路拡幅、人、自転車、車道の広さを要望（第三小の件）
- ・交差点手前右折専用道、拡幅要望、渋滞緩和策
- ・道路が狭い
- ・第三小の通学路危ない
- ・子供が危なければ障害者も危ない

【公共交通】

- ・若い人も過ごしやすいためにバス路線
- ・交通の効率化が必要では
- ・交通が縮小している
- ・免許返納しても生活できるまち
- ・マイカー不要のまち
- ・歩いて買い物できる所がない
- ・デマンド、ライドシェア
- ・スクールバスもみんなが利用できればいい
- ・拠点、駅、住宅地を結ぶ交通

【交流の場づくり】

- ・希望に合わせて利用したい
- ・センターは若い人は使いにくい
- ・センターでお酒が飲めない
- ・みんなで集まる所ない
- ・農家と農業やりたい人との交流
- ・助け合いのコミュニティがある
- ・自分たちで開発した土地
- ・地権者との交流の場
- ・地権者との交渉、道路拡張、歩道、農地利用のため
- ・空き家活用、対策
- ・おかしな土地区画例、風間街道交差点まで住宅地が来ていて歩道が途切れて危険な状態
- ・公園にカフェ、ドッグランとか
- ・総合公園のイベント（etc.犬）
- ・高齢者とペットの交流
- ・ビール祭りどうか
- ・ペット（犬）連れていける場所

- ・ 駅が遠い
- ・ 通勤が不便
- ・ 船橋だと便利になる
- ・ コミュニティバス休日も運行要望
- ・ コミュニティバス市役所中心重点でなく、買い物、通院等生活バスに重点を置いて
- ・ 高齢者（経度障害者含む）タクシー福祉券の発行要望
- ・ 富士地区に(地下)鉄道計画誘致を希望
- ・ 公共交通でコミュニケーション

【自転車】

- ・ シェアサイクルを入れてほしい
- ・ 自動運転車
- ・ 自転車などで安心して走れるように歩道の整備

【広報】

- ・ タウンミーティング実施すること知らない人多い
- ・ 協議会との連携できていない
- ・ 広報しろい、市のラジオ、行政は親切？
- ・ 高齢者はデジタル弱い
- ・ 紙の広報大事
- ・ SNS と紙利用
- ・ もっとたくさんの人に来て欲しい
- ・ “見たくなる”情報提供
- ・ 結果を分かりやすく教えて！

- ・ 高齢者ボランティアコミュニティの場を設ける
- ・ 沖縄ではおじい、おばあ大好き

【拠点づくり】

- ・ 働く場、464 に道の駅
- ・ 高齢者の働く場
- ・ 交流拠点
- ・ 商店街の復活
- ・ 白井市役所中心に拠点
- ・ 森、住、商、工、農など土地区画整備で美しい土地、町づくり
- ・ 北総線の上にフタして商業地に
- ・ 駅周辺での賑わいの場所
- ・ 駅周辺での企業誘致
- ・ 職住近接、職駅近接

【その他】

- ・ 白井市財政の黒字化と余力資金を
- ・ 子供は財産
- ・ スポーツに力を入れる
- ・ 市用地を市営梨農園を設け、農業指導支援を、高齢者ボランティア活用
- ・ 余談、郵便番号 270-14 地区である小室地区集約を白井市へ合併
- ・ 大規模火災が不安
- ・ 狭いからできること

主な意見まとめ

○交通、拠点づくり

- ・ 駅前にマンション立てると、駅前だが静かにしなければならない
- ・ 拠点づくりとして駅前に働く場所を作り、ビジネスの場に変えていく→駅が目的地になるため、移動手段の問題も解決になる。
- ・ 交流の場を整えて、交流の仕方のノウハウを集める。
- ・ 交通渋滞でバスも走りづらい。道路拡幅は地権者の理解・協力が必要→行政からではなく、地区から地権者に相談するようなスキームが必要
- ・ シェアサイクルのハローサイクルが入ってきていないのはなぜか

○情報発信

- ・ タウンミーティングを知らなかった人も多い。
- ・ 情報発信は高齢者・若い人の両方に必要→IT ベンチャーと共同で情報発信の仕組みを作れないか
- ・ 今日のようなイベントの開催報告はメールで来ることが多いが、SNS で発信すればもっと読んでもらえるのでは。「続きはコチラ」として HP に飛んでもらうなど。

A グループ



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【若い人が住みやすい環境】

- ・空き家などを安くして若い人に来てもらう
- ・若い人たちが住みたいと思える街になってほしい
- ・商店街にお店が入っておらず、盛り上がり欠ける
- ・バスをもっと便利に、文化センター等行きにくい
- ・街の活性化、駅前に喫茶店とか食事できる所
- ・個人の店も含めた多様な店
- ・移動できるから健康でいられる→バスやタクシーの工夫が必要では
- ・コミュニティバスの活用
- ・財政の健全化を図っていくこと、無駄を削ること
- ・若い人が集まるような取組が必要
- ・知名度の向上を図ること
- ・北総線の値下げ交渉をすること！

- ・自己満で終わらせない
- ・北総線運賃値下げ must！
- ・永住したい街
- ・若い世帯が住みやすい町、子育てしやすい環境
- ・平屋の一戸建て、広い土地、駅近
- ・CM、ドラマ、映画撮影、太陽広場（ex.シャルウィーダンス）
- ・千葉と言えはしろいの梨ブランド化、輸出も
- ・環境に優しい街、SDGs 石鹸の普及
- ・再生可能エネルギー普及（ex.新築太陽光発電補助）

【若い人が住みたいと思えるまち】

- ・子供の元気な声が響くまち
- ・旧社保大跡地にマンションを誘致し、若い人を増やす
- ・緑の多いさわやかな町、桜台その他の並木の保護
- ・桜並木の横に 40m の建物が建つと 50 年以上残

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・住環境の維持、保全を進めて行くこと ・若い人を呼び込むために大学などを誘致してはどうか ・桜通りの景観を壊すな（データセンター反対） ・印西市との統合を考える！（財政） ・データセンターを誘致するなら ICT 化の推進を！ ・農業の ICT 化 ・1～2 次産業に偏っているのでは？ ・工業団地があるのに若い人が流出しているので給料含めた補助 ・産業がないと街は衰退する ・住宅だけだと高齢化して衰退する ・住宅開発に偏り過ぎていたのでは？ ・地域の交流が盛んな町 ・単身者向けの住宅が少ない ・エレベータの件、故障、点検、修理の時 ・足腰弱い人や体弱くなったらどうするのか？ ・災害などで民間施設のインフラが止まったらどうするのか ・駅前の駐輪場が白井市だけ料金 2 倍 ・千葉ニュータウンをブランド化 ・外に目を向けよう！印西と仲良く ・白井をやめる ・白井？誰も知りません | <ul style="list-style-type: none"> ・桜並木がところどころ切られているのが気になる ・データセンターは税収は増えるかもしれないが、目先のお金だけでは？ ・市が規制できるものとできないものがある点が難しい ・データセンター（住宅街）には勘弁 ・住環境を守って欲しい ・桜台の名にふさわしい桜並木を守って欲しい ・空地、耕作放棄地を有効活用 ・印西は小学校不足して大変、桜台は子育て世代が住みやすいようにしては？ ・子育て世代の定住可能な環境・補助 ・市民の活動を支える取組みも盛ん ・駅周辺と郊外が昔は、切りわかれていた→今は交流が盛ん ・平塚と今井の桜は雑木林とセットでキレイに見える。城跡もある ・平塚分校の近くの雰囲気の良い、周囲の農家の方とコミュニケーションとった ・歴史ある地区として、魂を揺さぶるようなものが何かあるのでは？ ・持続可能な白井市を目指したい ・安心・安全な白井の魅力を広めたい |
|--|--|

主な意見まとめ

- 若い人が住みやすいまちづくり
 - ・住宅ばかりでは高齢化が進むとまちが衰退してしまう
 - ・1～2 次産業＋3 次産業でも経済を循環させていく必要。
 - ・データセンターを中心に ICT 化を進める。ただし、景観を阻害する恐れもありデータセンター誘致はセンシティブ。
 - ・空き家、耕作放棄地の活用
- 若い人が住みたいと思うまち
 - ・桜台の桜並木を守り、住環境を継承していきたい。
 - ・知名度が低い→「しろい市」として分かりやすくする、財政的な視点から近隣市と連携する
- コミュニティ
 - ・商店街にお店が入っていない→チェーン店だけでなく、個人店、白井にしかない店が大事
 - ・駅前に喫茶店など食事できる場所がほしい
 - ・平塚分校近くの雰囲気の良い、周囲の農家とのコミュニケーション創出の場をつくる
 - ・市民の活動を支える取組も盛ん

・バスタクシーをもっと便利に。移動できるから健康でいられる。

B グループ



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

- ・住民視点の地区計画を作成されたい
- ・今の住環境をずっと維持すること
- ・災害時の炊き出し場所
- ・道路の雑草、管理の徹底
- ・桜台の交通、チベット化の打開のために、民間との相互利用を考えたらいいか？
- ・市長選に立候補者が多くなる魅力ある市にしたい
- ・北環道路の解決（189号線）
- ・学校の雑草を刈ってあげてほしい、校舎周りや校庭
- ・桜台小中学校の改修
- ・商業店舗、企業を増やしたい
- ・さつま興業問題の解決
- ・こじんまり小規模の市であってほしい
- ・印西市との合併
- ・10年後には印西市に編入したい(桜台は)
- ・464号線沿いに「道の駅」を作る
- ・桜台地区に総合病院の実現
- ・外国人がたくさんいる英語の町
- ・桜台地区にATMや郵便局を！
- ・本屋を誘致して欲しい
- ・印西にはない大型商業施設を誘致して欲しい、アウトレットとか（渋滞対策をして）
- ・アクセス特急を停めて欲しい（白井駅）
- ・白井市駅前、近隣の賑わい
- ・プラネタリウム、文化会館
- ・高校生、大学生のいる家庭への支援
- ・子供に目を向けた政策
- ・保育ママ等、子育て中の家庭の支援（送迎とか急な病気の時のサポート）
- ・白井市小中学校の全校自校化、センターの残菜処理の経費はもったいない
- ・桜台小中学校の自校給食の存続
- ・外国人との秩序ある共存
- ・外国人の方も住みやすい環境を！
- ・工業団地のインフラ整備
- ・梨園を残したい

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を食い止める ・一度住んだ人が戻ってくる町 ・スポーツ施設のメンテナンスしてほしい ・中学校テニスコートの有効利用 ・文化施設のメンテナンス ・学校や子育て、ケチらないで ・駐輪場料金の是正を粘り強くやるべし ・安易にデータセンターを建設するべきでない ・学校教育に魅力ある町 ・駅前駐輪場の市内平等化、白井、西白井、NT 駅の利用料金を同一に！ ・予算は子供にかけて！ | <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会強化、就農 ・交通の便を良くしたい ・給食無料はやめてほしい ・フッ素問題の追及 ・白井駅、西白井駅周辺の活性化 ・北総線の運賃を下げる ・北総線運賃値下げ ・白井市内及び市外の病院へのコミュニティバスの運行、乗り降り自由にしてお年寄りに優しいバス希望 ・桜並木などの名所が欲しい |
|--|--|

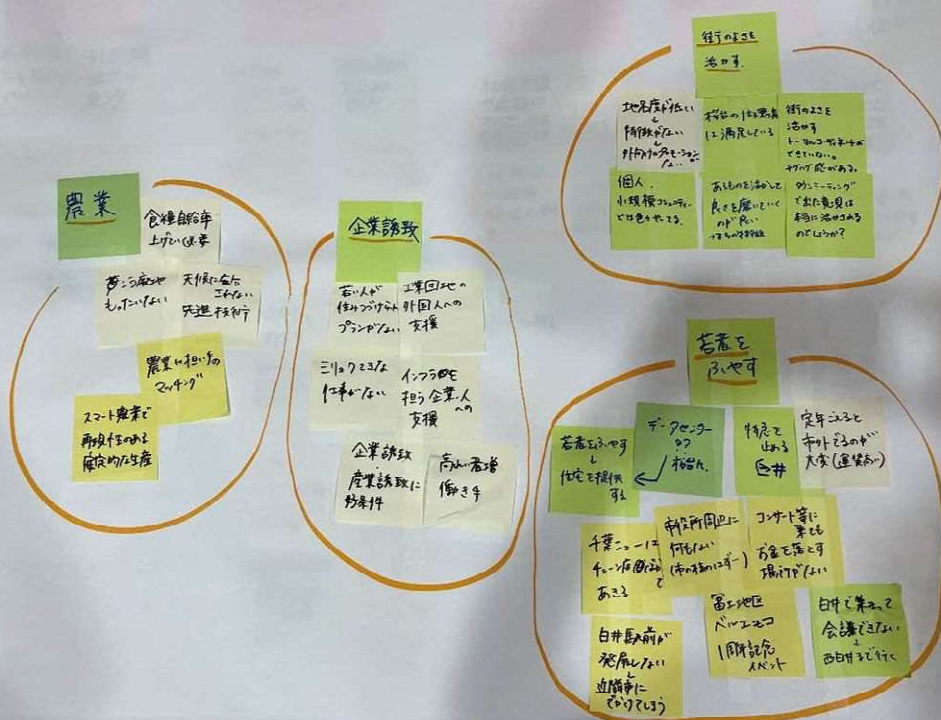
主な意見まとめ

○白井に戻って来てもらうための魅力づくり

- ・人口減少を食い止めるために、白井に戻って来てもらうための魅力づくり
- ・例えば子どもに特化した施策。子どもに予算をかける。
- ・学校教育に魅力があるまちにする。自校式給食を続けてほしい。
- ・外国人の受入れ、秩序ある共存
- ・白井の梨園は残したい、梨を PR する
- ・白井の魅力を上げるために白井駅・西白井駅の活性化。商業店舗や企業を増やす。
- ・桜台にない郵便局、本や、総合病院、国道 464 号沿いに道の駅を誘致してほしい。
- ・北総線の運賃を下げる、北総線以北の土地の有効活用
- ・白井市内及び市外の病院までのコミュニティバスの運行。乗降自由にして、使いやすい交通。民間との相互利用にして、効率的な交通網を整備する。
- ・こじんまりした小規模のまちであってほしい⇔印西市と合併
- ・住民視点での地区計画を作成したい

10年後の白井市のために

6/23 桜台センター
Cグループ



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【企業誘致】

- ・若い人が住み続けられるプランがない
- ・工業団地の外国人への支援
- ・魅力的な仕事がない
- ・インフラを担う企業、人への支援
- ・企業誘致、産業誘致に好条件
- ・高齢者増、働き手

【街の良さを活かす】

- ・知名度が低い→特徴がない→外向けのプロモーションがない
- ・個人、小規模コミュニティでは色々やってる
- ・桜台の住環境は満足している
- ・あるものを活かして良さを磨いていくのが良い→まちの特徴
- ・街の良さを活かす、トータルコーディネートができていない、ちぐはぐ感ある。
- ・タウンミーティングで出た意見は本当に活かされるのでしょうか？

【農業】

- ・ 食料自給率を上げて行く必要
- ・ 荒廃地もつたいない
- ・ 天候に左右されない先進技術
- ・ 農業の担い手のマッチング
- ・ スマート農業で実現性のある安定的な生産

【若者を増やす】

- ・若者を増やす→住宅を提供する
- ・データセンター？桜台に
- ・特急を停める、白井
- ・定年超えると市外出るのが大変（運賃高い）
- ・千葉ニューはチェーン店ばかりであきる
- ・市役所周辺に何もない（市の核のはず）
- ・コンサート等に来てもお金を落とす場所がない
- ・白井駅前が発展しない→近隣市に出かけてしま
う
- ・富士地区ベルエモコ1周年記念イベント
- ・白井で集まって会議できない→西白井まで行く

○農業

- ・白井と言えは梨だが、農家の担い手がない
- ・スマート農業や農家と担い手のマッチングなど、先進技術を使って力を入れていく必要

○企業誘致

- ・データセンターだけで雇用が増えるのか？
- ・白井に魅力的な仕事がない→インフラを担う企業や人材に支援が必要

○若者を増やす

- ・桜台は千葉ニュータウンも近く住みやすい
- ・中くらいの田舎の雰囲気がちょうどよい
- ・特急をとめる→需要が増え住宅供給を増やす→人が増えて商店街も盛り上がるのでは？
- ・白井では、文化センター等でイベントがあっても、イベント会場以外でお金を落とす場所がない
- ・市役所周辺には気軽に集まれる場所が少ない
- ・まちの良さを生かすためのつながりがない。トータルコーディネートが必要。

D グループ



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【移動手段】

- ・北総線運賃値下げ MUST！
- ・北総線の値下げ交渉
- ・ライドシェア
- ・安価、手軽な移動手段
- ・外部とコラボレーションして、人、モノ、金を市の財産に育てる
- ・官民連携実証実験の場として

【市の魅力】

- ・住宅地、平屋建てが建てられる様
- ・地盤が固い PR
- ・文化センターを中心としたまちづくり
- ・文化都市をめざす
- ・持続可能な魅力ある白井市
- ・白井市から「しろい市」へ
- ・白井文化センターから白井駅までの通りを活性化しては？
- ・歴史ある白井市の安心・安全、住みやすさを広める

【住環境】

- ・社保大跡の建設について、住民が歓迎できるものに！
- ・住環境の維持、保全に尽力を
- ・外国人との共生、コミュニティの確立
- ・永住したい町
- ・人口減少を食い止める視点をもった土地の利活用を！

【若い世代を定住させる】

- ・人口減少を食い止める
- ・若い世代が住みやすい町
- ・若い世代を呼び込む大学の誘致など必要
- ・学校、教育に魅力
- ・インバウンド、英語の町強化
- ・子供に魅力ある町→プラネタリウム、給食、文化
- ・戻って来たくくなるような町
- ・予算を子供に（予算を削るのはそこじゃない）

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・駅前周辺商店街の活性化をしよう！ ・CM、ドラマ、映画（ex.シャルウィーダンス、太陽広場） ・千葉県といえばしろいの梨、輸出も ・しろいの梨のブランド化 ・白井といえば梨商品の拡販、紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ・これを活かす（全域にわたってすくにやれる） ・バリアフリーのまちづくり ・財政の健全化 ・印西市と合併すべき ・静けさを保ちつつ活気あるまちに ・再生可能エネルギー、太陽光発電の推奨（原発事故×） ・カーボンニュートラル CO2 の車、補助金 ・環境に優しい（石けん）SDGs |
|---|--|

主な意見まとめ

○移動手段

- ・安価で手軽な移動手段があるとよい。例えば北総線値下げ、ライドシェアなど。
- ・便利な移動手段の確保に向けて、官民連携で実証実験をしてほしい

○市の魅力アップ

- ・表記を「しろい市」にして認知されやすくする
- ・文化センターを中心としたまちづくり→プラネタリウム、図書館を拡張。白井駅から文化センターまでの沿道を活性化。
- ・梨、地盤の固さ、CM・ドラマ・映画のロケ地があること等をPRする。ブランディングが大事。

○住環境

- ・住環境の良さを維持する。土地の利活用。旧社会保険大学の跡地は住民が歓迎できるものが良い。
- ・バリアフリーのまちづくり。
- ・緑など環境の保全。環境に優しい車への補助金。再エネとして太陽光発電の推奨。

○若い世代の定住を促進

- ・学校教育の魅力。インバウンド対応として英語力を強化する。
- ・静けさを保ちつつ、活気あるまち。若い世代が戻ってきたくなるようなまち。



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

- ・人呼び込むコンテンツ
 - ・白井特有のものを残す

【文化センター、市民プール】

 - ・文化センター、プラネタリウム、図書館の拡大
 - ・文化センターを残す
 - ・文化都市を目指す
 - ・他にないものをアピールする
 - ・文化センターの喫茶を又復活して欲しい！食べる所がない

【交通】

 - ・文化と教育、子どもたちのためにバスの活用（交通アクセス市内）
 - ・独居老人の方がお買い物に困らないような移動、スーパーを地区ごとに走らせる
 - ・コミュニティバスを増やし、乗り場も自由昇降にする
 - ・お料理教室、独居老人になっても困らないために早めに準備
 - ・北環道路問題の解決（189号線）

【商業やDC】

 - ・16号に商業エリアを
 - ・アウトレットとかの大型商業施設（印西にないもの）
 - ・464号沿いにドライブスルーの飲食店を作る（渋滞しない配置をして）
 - ・集客が見込めるような商業施設、幕張のトンデミみたいなものの併設されているような所
 - ・真名井の湯がなくなってしまったので、同じような施設が欲しい、お風呂＋食事＋スポーツ施設
 - ・ラブホ閉鎖！
 - ・災害への強さを生かした産業振興
 - ・データセンターの誘致の推進
 - ・（データセンター）環境保全の観点からも必要性を考えた方が良いのでは
 - ・ICT先進自治体を目指す
 - ・桜台地区に総合病院を！
 - ・情報教育の充実を

(交通アクセス市外) ・急行を停める 【印西との関わり】 ・白井をやめる ・プライドを捨てる ・千葉ニュータウンをブランド化 ・印西と仲良くする ・NT 駅前駐輪場の料金を白井、西白井と同じにして平等化を図る ・印西市との合併 ・10 年後、白井にいたいと思わせる市の政策を希望、今のままでは税金払いたくない ・印西市との差の解消 ・印西市と合併してシナジー効果を ・印西市に編入する 【高齢者】 ・高齢者にやさしい白井 ・高齢化への不安への対応 ・国保料高い！ ・市民大学の充実と発展、第二の人生を活用する体制 【自校式給食】 ・桜台小中学校の自校給食をなくさない ・若い世代を呼び込むために、白井市内小中学校の給食を全て自校式にする	・若い人たちに来てもらいたい、町の活性化、駅前等 ・梨の泉の活用 ・社会保健大学跡地の利用、方向は？ 【緑の活用】 ・緑の保全 ・キャンプ場開設 ・桜並木等名所を作る ・産廃業者の規制 【その他】 ・安い住宅、空き家の活用を ・平塚分校を活用 ・総合公園でフェス ・市民運動会 ・大規模なイベントの復活 ・市長選挙の立候補が乱立される程の魅力ある市にして欲しい ・桜台のチベット化を防ぐ対策 ・住みやすい桜台のため、少ない空地活用
主な意見まとめ	
○交通 ・渋滞もひどいので、北千葉道路の事業を進めてほしい ・バス路線の維持がないと不安 ○商業施設・データセンター誘致 ・国道沿いに、印西とは違った商業施設やドライブスルーの飲食店がほしい ・大学跡地は、環境保全の視点が必要。データセンターではなく総合病院があると良い。 ・文化センター、プラネタリウム、プール等白井独自のコンテンツを活かす ○緑の活用 ・自然が多くあるのにキャンプ場等の自然を生かす産業がない。桜道など名所づくりなども大事。 ・農業は白井の梨と言いつつ、周辺市に押されている。継承者を呼び寄せる取組みが必要。 ・産廃業者への規制が必要。 ○子どもの活力、若者の定住 ・白井に大企業誘致は期待できないが、人を増やすことが重要。流山は企業がなくても人が来ている。 ・子供が大人になって戻ってきたいと思える福祉の手厚さ。自校式給食をなくさない。	

・若者が住みやすい住宅の確保。空き家の活用。